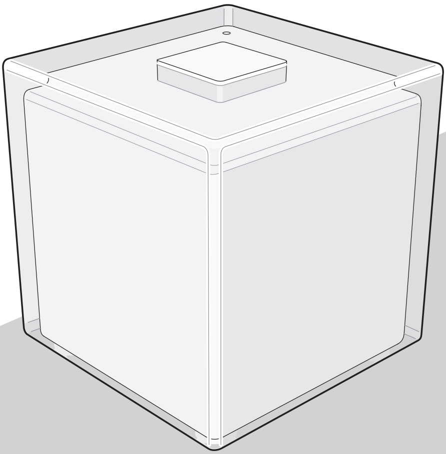
取扱説明書

HOME SPOT CUBE



■ ごあいさつ

このたびは、HOME SPOT CUBE（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に『取扱説明書』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、au ショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

ワンポイント

- **取扱説明書について**
  『取扱説明書』（本書）PDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
  http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「1-4 安全上のご注意」（p.8）をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「第７章 故障とお考えになる前に」（p.159）で症状をご確認ください。

■ 本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。
  (This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

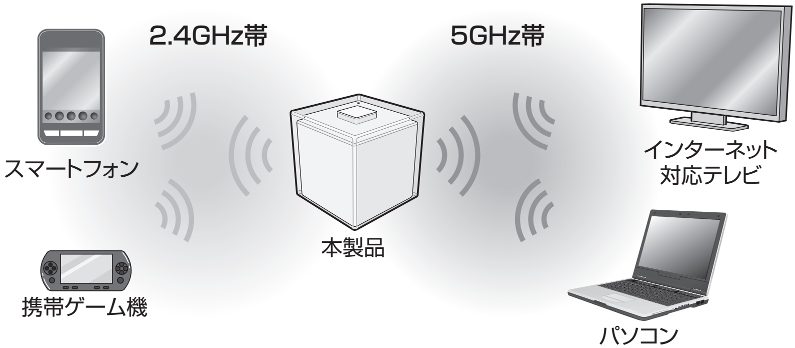
はじめに

1-1 本製品の特長

■ つながる

au のスマートフォンはもちろん、2.4GHz 帯（IEEE802.11b/g/n*）／5GHz 帯（IEEE802.11a/n*）の同時利用ができるので、ご自宅のパソコンなどお手持ちのWi-Fi搭載機器で、Wi-Fiを快適にご利用いただけます。

＊ 11nテクノロジー。最大150Mbps。



■ かんたん

スマートフォンのアプリ（au Wi-Fi接続ツール）と連動した、「かんたん接続」に対応しているので、スマートフォンの画面を見ながら、ボタンひとつで簡単にWi-Fiが始められます。
一度設定すれば、次回使用時に設定の必要はありません。

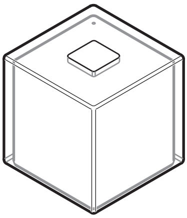
■ あんしん

盗聴や不正利用を強力に防止する高セキュリティな暗号化方式（WPA2-PSK）に対応しています。

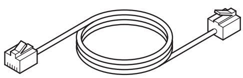
1-2 同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がそろっていることをご確認ください。

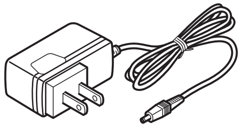
- HOME SPOT CUBE
  1台



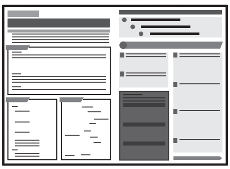
- LANケーブル（2m）
  1本



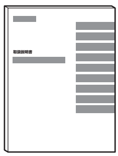
- ACアダプタ
  1個



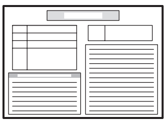
- はじめてガイド
  1枚



- 取扱説明書（本書）
  1冊



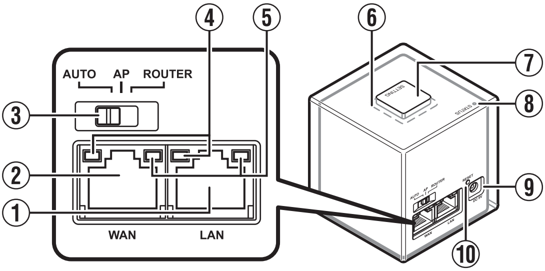
- 保証書
  1枚



お読みください

- 本書で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 本製品についている透明フィルムは、剥がしてからご利用ください。

1-3 各部の名称とはたらき



① LANポート
ネットワーク機器をLANケーブルで接続します。

② WANポート
モデム/ルータ/ONUをLANケーブルで接続します。

③ モード切替スイッチ
動作モードを「オートモード(AUTO)」、「アクセスポイントモード(AP)」および「ルータモード(ROUTER)」に切り替えます。詳しくは、「5-2 動作モードを切り替える」(p.69)をご覧ください。

④ ACTIVEランプ(橙)
WANポートまたはLANポートの通信状況を表示します。詳しくは、「8-1-2 ランプの表示」(p.181)をご覧ください。

⑤ LINKランプ(緑)
WANポートまたはLANポートの接続状況を表示します。詳しくは、「8-1-2 ランプの表示」(p.181)をご覧ください。

⑥ かんたん接続(SETTING)ランプ
「かんたん接続」や「WPS接続」の接続状態を表示します。詳しくは、「8-1-2 ランプの表示」(p.181)をご覧ください。

⑦ かんたん接続(SETTING)ボタン
「かんたん接続」を使った設定やWPS接続の設定を行います。

⑧ ステータス(STATUS)ランプ
本製品の状態を表示します。詳しくは、「8-1-2 ランプの表示」(p.181)をご覧ください。

⑨ 電源端子
付属のACアダプタを接続します。

⑩ 初期化(RESET)ボタン
5 秒以上長押しすると、本製品を初期化します。詳しくは、「7-3 本製品を初期化するには」(p.175)をご覧ください。

お読みください

- 「はじめてガイド」および本書の指示があるまで、本製品の電源は入れないでください。

ワンポイント

- 本製品を再起動したいときは、本製品にログインし、設定画面（WebUI）から再起動することができます。詳しくは、「5-13 本製品を再起動する」（p.127）をご覧ください。
- 電源を切るときは、通信状態でないことを確認し、ACアダプタをコンセントから取り外してください。

1-4 安全上のご注意

1-4-1 本書の表記方法について

■ 表記と記号について

表記
「　」で囲まれた文字はウィンドウ名、名称、入力する内容などを示します。
［　］で囲まれた文字は画面のボタン名を示します。
例えば、［次へ］は、次へ(N)> を示します。
＜　＞で囲まれた文字はキーボードのキー名を示します。
例えば、<Enter>は、キーボードのEnterキーを示します。

記号
「お読みください」は、お読みいただきたい注意事項を記載しています。
「ワンポイント」は、ワンポイント情報などを記載しています。
「こんなときには」は、困ったときに役に立つ参照ページを記載しています。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

- 本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

1-4-2 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記載内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 事故や本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、本体に登録された設定データなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- お客様ご自身で本製品に登録された情報内容は、コンピュータのハードディスクなどに保存したり、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本製品の故障や修理、機種変更やその他取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず、当社としては一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

提供元 ： KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社

製造元 ： プラネックスコミュニケーションズ株式会社

1-4-3　安全上のご注意

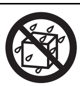
ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負うことが想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1　重傷　　：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2　傷害　　：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

- 図記号の意味は以下の通りです。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
 プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示す記号です。

■本体、ACアダプタ、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

指示	必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障の原因となります。
禁止	火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
禁止	電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
禁止	火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
禁止	接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。
禁止	ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。
分解禁止	お客様による分解や改造、修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
禁止	接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
禁止	本製品が落下などによって破損し、機器内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。au ショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。
水ぬれ禁止	水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水漏れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因になる場合があります。
禁止	風通しの悪いところに置かないでください。 ● 押し入れや本棚などに押し込まない ● じゅうたんや布団などの上に置かない ● テーブルクロスなどをかけない ● 梱包品やビニール袋などに入れたまま使用しない 内部に熱がこもり、火災、感電、故障や変形の原因となることがあります。
禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。
禁止	使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。
禁止	乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。
禁止	外部から電源が供給されている状態の本体、ACアダプタに長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
禁止	コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止	腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
禁止	ケーブルをつけたまま持ち運ばないでください。 火災、感電の原因や、つまづいてけがの原因になります。 ACアダプタの接続端子や、機器間のケーブルを外したことを確認のうえ、移動してください。
指示	使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、AC アダプタをコンセントから抜き、au ショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたはお客さまセンターまでご連絡ください。
指示	外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠ 警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。

禁止

自動車内で使用しないでください。まれに車載電子機器に影響を与える場合があり、安全走行を損なうおそれがあります。

指示

高精度な電子機器の近くでは、本製品を使用しないでください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

指示

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から 22cm 以上離して使用してください。
2. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品を使用しないでください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
3. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

⚠注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用箇所	使用材料
外装ケース	PC（ポリカーボネート）
シリコンゴム足	シリコンエラストマー
WAN ポート／ LAN ポート	ナイロンポリスター
電源コード	テフロンチューブ
LAN ケーブル	PVC（ポリ塩化ビニール）

指示

通信中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となるおそれがあります。また、本体に貼ってある透明フィルムは必ず剥がしてからご利用ください。

■ ACアダプタについて

⚠警告	誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指示	指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。 ● ACアダプタ：AC100V
指示	AC アダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだ AC アダプタやゆるんだコンセントは使用しないでください。
禁止	付属のACアダプタを、本製品以外に使用しないでください。火災や感電の原因となります。
禁止	ACアダプタの電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。
禁止	接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
禁止	雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。
プラグをコンセントから抜く	お手入れをするときは、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

 指示	ACアダプタは、必ず付属のものを使用してください。火災や感電の原因となります。
 指示	電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
 プラグをコンセントから抜く	長時間使用しない場合は AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。感電・火災・故障の原因となります。
 水濡れ禁止	水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

⚠注意 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

 水濡れ禁止  濡れ手禁止	風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。
 プラグをコンセントから抜く	ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

1-5 取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

1-5-1 本体、ACアダプタ、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。
  また、LANケーブルをLANポートやWANポートに差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。（周囲温度0℃～40℃、湿度20%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となることがあります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、本体に傷がつく場合があります。本体に水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

1-5-2 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を与えないでください。傷の発生や破損の原因となることがあります。
- ボタンの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因になります。
- 本製品底面に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造された機器は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク 」が本製品底面のラベルに表示されております。
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因になりますのでご注意ください。
- 長時間連続して使用し続けた場合などは、本体の一部が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。

- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 静電気に注意してください。
  本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となるおそれがあります。本製品を設置する際は、コネクタや取り付け部分に触れないなどの注意をしてください。
- ご利用のパソコンのデータのバックアップを取得してください。
  本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、当社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。

1-5-3 ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- ACアダプタの電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- AC アダプタのプラグと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

1-6 無線LAN（Wi-Fi®）機能をご使用する場合のお願い

1-6-1　周波数帯について

本製品の無線LAN機能は、2.4GHz帯と5GHz帯の周波数を使用します。

2.4　DS/OF 4
■■■

2.4	：	2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	：	DS-SS方式およびOFDM方式を表します。
4	：	想定される干渉距離が40m以下を表します。
■■■	：	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

本製品が使用するIEEE802.11aとIEEE802.11nのチャンネルは36、40、44、48ch（W52）と52、56、60、64ch（W53）と100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch（W56）です。34、38、42、46ch（J52）を使用する無線機器（アクセスポイントやクライアント）とは通信できません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53 W56

W52（5.2GHz帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
W53（5.3GHz帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
W56（5.6GHz帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

- 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波を検出します。その間は通信できません。
- 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更します。その間は通信が中断されることがあります。

IEEE802.11n（5GHz）およびIEEE802.11a対応製品に関して通信時利用時に5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

1-6-2 無線LAN（Wi-Fi®）についてのお願い

- 無線LAN機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 電気製品・AV機器・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 無線LANご使用上の注意

本製品の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯と5GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

本製品はすべての無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

1-6-3　無線LAN製品のセキュリティに関するご注意

（お客様の権利＜プライバシー保護＞に関する重要な事項です）

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）。
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）。
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）。
- コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）。

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定を取扱説明書に従って行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

目次

準備する

インターネットにつなげるまでの手順

第2章　準備する

▼

2-1 （p.31）
必要なものを準備する

▼

2-2 （p.31）
現在のネットワーク状況を確認する

▼

2-3 （p.34）
本製品と利用する通信機器を接続する

▼

第3章　ａｕのスマートフォンを接続する

▼

3-1 （p.38）
「かんたん接続」を使う

▼

3-2 （p.43）
インターネットにつながるかを確認する

▼

第4章　他のスマートフォンやパソコンを接続する

▼

4-1 （p.46）
（A）WPSで接続する（プッシュボタン方式）（p.47）
（B）手動で接続する（p.49）
（C）有線で接続する（p.60）

▼

4-2 （p.61）
インターネットにつながるかを確認する

▼

インターネットをご利用いただけます。

2-1 必要なものを準備する

以下のものを準備してください。

■ **必ず用意するもの**

- 本製品、付属のACアダプタおよび付属のLANケーブル（WANポート用）
- インターネットに接続したいスマートフォンまたはパソコン

■ **必要に応じて用意するもの**

- お手持ちのLANケーブル（パソコンを有線接続するときのみ必要）
- インターネットに契約したときの書類（インターネットの契約をしてないときは、事前にインターネット回線を用意してください。）

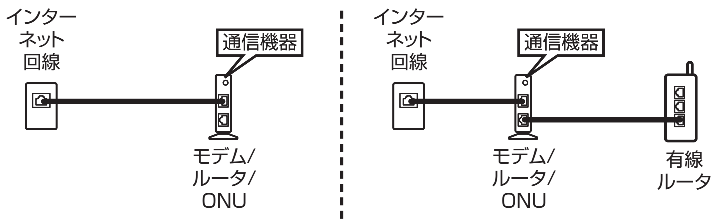
2-2 現在のネットワーク状況を確認する

はじめに、現在のインターネットの接続状況を確認します。

2-2-1 通信機器を使用して、パソコンを有線接続しているとき

通信機器や有線ルータを使用して、有線でインターネットに接続しているときは、以下の手順で確認作業をしてください。

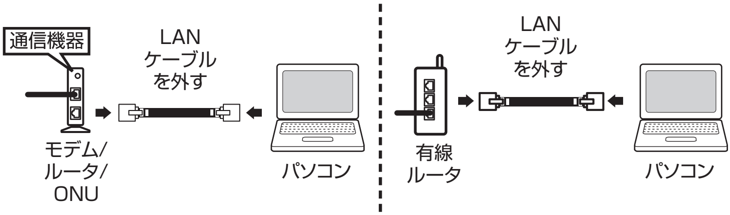
1 インターネット契約時にプロバイダや回線業者から、購入・レンタルした通信機器があるかを確認する



準備する

2 パソコンの電源を切って、パソコンと通信機器を接続しているLANケーブルを外す

通信機器に空きポートがある場合は、ケーブルを外す必要はありません。



ワンポイント

- 「ケーブルテレビ」などの通信機器をお使いの場合、直前までの設定を保存しているため、インターネットへ接続できないことがあります。通信機器のACアダプタを外し、30分ほど電源を切ってください。

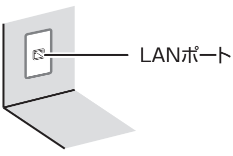
これで確認作業は完了です。「2-3 本製品と利用する通信機器を接続する」（p.34）へお進みください。

2-2-2 インターネットマンションなどで、パソコンを有線接続しているとき

インターネットマンションやホテルの客室で、有線でインターネットに接続しているときは、以下の手順で確認作業をしてください。

1 部屋の壁にLANポートが配置されているかを確認する

※ LANポートは、電話機のモジュラジャックよりひと回り大きいポートです。



2 パソコンの電源を切って、パソコンとLANポートを接続しているLANケーブルを外す



これで確認作業は完了です。「2-3 本製品と利用する通信機器を接続する」（p.34）へお進みください。

2-2-3 無線ルータを使用して、パソコンを無線接続しているとき

無線でインターネットに接続しているときは、特に確認作業は必要ありません。

「2-3 本製品と利用する通信機器を接続する」（p.34）へお進みください。

2-2-4 今回はじめてインターネットに接続するとき

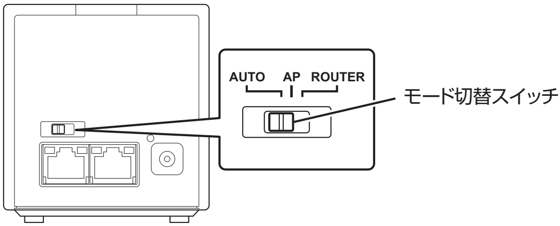
インターネットにはじめて接続するときは、特に確認作業は必要ありません。

「2-3 本製品と利用する通信機器を接続する」（p.34）へお進みください。

2-3 本製品と利用する通信機器を接続する

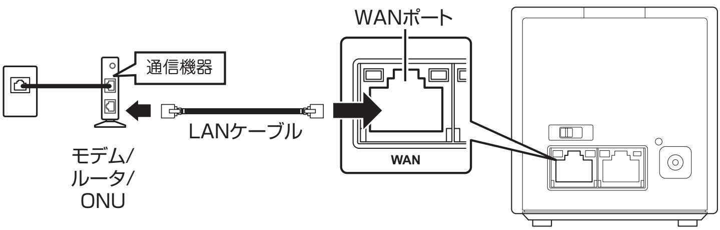
1 本製品背面のモード切替スイッチが「AUTO」に設定されていることを確認する

「AUTO」になっていないときは、「AUTO」に切り替えてください。



2 付属のLAN ケーブルを使って、本製品背面のWAN ポートにインターネット回線を接続する

インターネット回線の接続については、「インターネット回線の接続とは…」（p.35）をご覧ください。

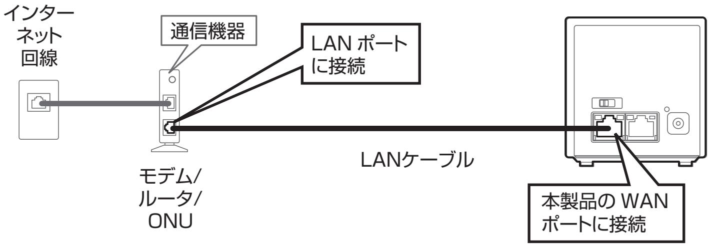


ワンポイント

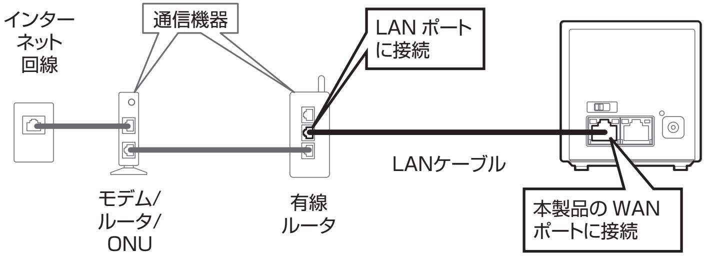
- **インターネット回線の接続とは…**

  お使いの環境により、接続方法が異なります。以下を参考に付属のLANケーブルで接続してください。

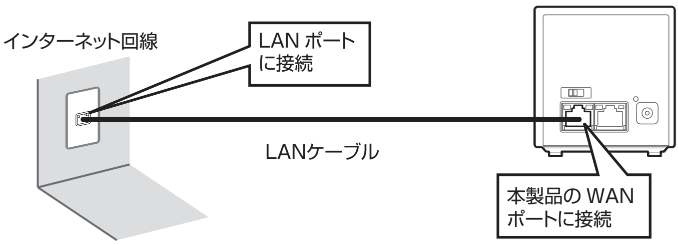
■ モデム/ルータ/ONUと直接接続する場合



■ 有線ルータと接続する場合

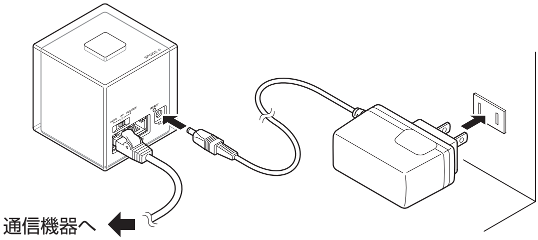


■ インターネットマンションやホテルの場合



3 付属のACアダプタを本製品とコンセントにつなぐ

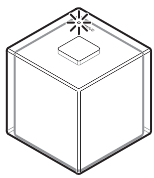
本製品には電源ボタンがありません。電源を入れるときは、本製品背面の電源端子にACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続してください。



お読みください

- 本製品の電源を入れてから、ステータス（STATUS）ランプが緑点灯するまで２分ほどかかります。
  本製品が起動するまでは、電源を切らないでください。

4 かんたん接続（SETTING）ランプが消灯し、ステータス（STATUS）ランプが緑点灯することを確認する



お読みください

- お使いのモデム/ルータ/ONUによっては、ステータス（STATUS）ランプが緑点灯しない場合があります。
  ランプが橙点滅から変わらないときは、モデム/ルータ/ONUの電源を切って、30分ほどそのままの状態にして、再度ご確認ください。
- 上記を実行してもステータス（STATUS）ランプが橙点滅のときは、本製品にインターネットの情報を登録する必要があります。
  「第３章 au のスマートフォンを接続する」（p.37）または「第 4 章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」（p.45）で本製品に接続した後、「5-3-2 PPPoE接続に変更する」（p.73）または「5-3-4 マルチPPPoE接続に変更する」（p.78）をご覧いただき、プロバイダ情報を登録してください。

これで接続作業は完了です。「第 3 章 au のスマートフォンを接続する」（p.37）または「第 4 章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」（p.45）へお進みください。

auのスマートフォンを接続する

※　この章ではAndroid™を搭載したauスマートフォンの操作について説明します。
※　iPhoneをお使いのときは、「第４章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」（p.45）をご覧ください。

3-1 「かんたん接続」を使う

「かんたん接続」を使うと、本製品を簡単に設定できます。
※ お使いのスマートフォンにより画面が異なります。

1 お使いのauスマートフォンの電源を入れる

2 Androidマーケットより、「au Wi-Fi接続ツール」をダウンロード（インストール）する

※ 「au Wi-Fi接続ツール」があらかじめインストールされているときは、手順2をとばして手順3に進んでください。
※ 「かんたん接続」については、auホームページでご確認ください。

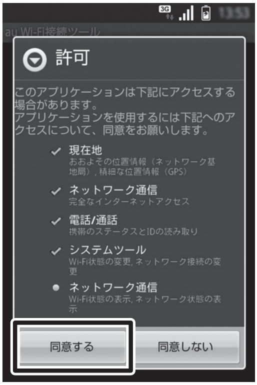
3 「au Wi-Fi接続ツール」を起動する

① メインメニューキーをタップする
② [au Wi-Fi接続ツール] をタップする



4 ［同意する］をタップする

アプリケーションの動作説明が表示されます。内容を確認し、［同意する］をタップしてください。
［同意しない］をタップすると、アプリケーションを終了します。



5 ［初期設定（かんたん接続）］をタップする

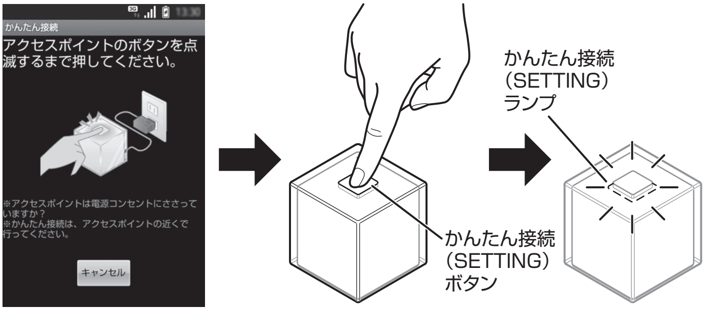
「かんたん接続」のメニュー画面が表示されます。
メニューの［初期設定（かんたん接続）］をタップしてください。



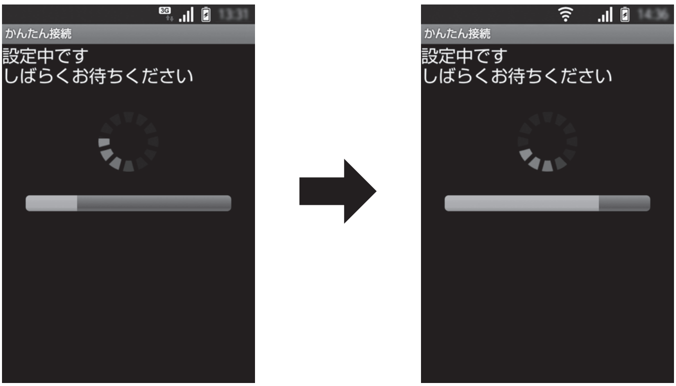
※　Wi-FiがOFFのときは、自動的にONになります。

6 ボタンを押す指示が画面に表示されたら、本製品のかんたん接続（SETTING）ボタンを長押しする

かんたん接続（SETTING）ランプが橙点滅するまでボタンを押し続けてください。ランプが橙点滅したら、本製品の設定が始まります。



「かんたん接続」が開始されます。

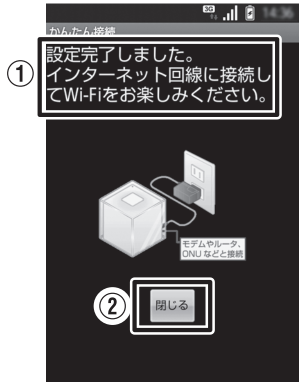


お読みください

- 「かんたん接続」の設定中は、本製品の電源を切らないでください。
  本製品のデータが破損し、起動しなくなる可能性があります。

7 完了する

① 「設定完了しました」と表示されることを確認する
② ［閉じる］をタップする



以上で接続は完了です。「3-2 インターネットにつながるかを確認する」（p.43）へお進みください。

ワンポイント

- 「かんたん接続」でエラーが表示されたときは、次ページの「こんなときには」（p.42）をご覧ください。

こんなときには

以下のメッセージが表示されたときは、対処方法の内容を確認し、再度手順 **5** から設定をやり直してください。

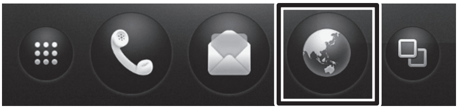
メッセージ内容	対処方法
アクセスポイントが見つかりませんでした。 ※ アクセスポイントのボタンを押すタイミングが遅いか、アクセスポイントが近くにありません。	本製品から離れて「かんたん接続」を実行したり、かんたん接続（SETTING）ボタンが制限時間内に押されなかったときにメッセージが表示されます。[もう一度] をタップし、本製品の近くで手順 **6** から実行してください。
複数のアクセスポイントが見つかり、設定できませんでした。	本製品を複数使用するときは、1 台ずつ設定してください。
アクセスポイントの設定ができませんでした。	設定中にスマートフォンが接続できなくなると、メッセージが表示されます。[もう一度] をタップし、本製品の近くで手順 **6** から実行してください。
同時に複数の機器を設定できません。	お使いのスマートフォンは、1 台ずつ設定してください。
インターネットに接続できません。アクセスポイントの LAN ケーブル接続状態を、ご確認ください。	本製品のWANポートに、付属のLANケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。
インターネットに接続できません。ルータやモデムが正しく接続・設定されているか、電源が入っているかをご確認ください。	本製品と接続しているルータやモデムの電源が入っているかをご確認ください。ルータやモデムの設定については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
PPPoEの接続に失敗しました。PPPoE設定webページでID/パスワードを入力（確認）してください。	本製品にプロバイダの情報を登録する必要があります。「5-3-2 PPPoE 接続に変更する」（p.73）または「5-3-4 マルチPPPoE接続に変更する」（p.78）をご覧いただき、設定してください。 登録してもメッセージが表示されるときは、登録情報に誤りがあります。インターネット契約したときの書類をご確認いただき、再度、情報を登録してください。
PPPoE の接続に失敗しました。ご契約のプロバイダへお問い合わせください。	プロバイダのトラブルなどの理由で接続できない可能性があります。ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

3-2 インターネットにつながるかを確認する

インターネットにつなぎ、ネットワーク接続を確認します。

1 ブラウザを起動する

スマートフォンのブラウザアイコンをタップしてください。



2 URL入力欄に「http://au.kddi.com/」と入力して、インターネットにつながることを確認する



■ ホームページが正しく表示された

インターネットをご利用いただけます。

こんなときには

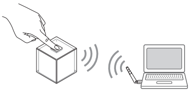
■ 以下に該当するお客様は…

- デスクトップに「PPPoEの設定を行ってください」と表示される（数秒間）。
- 通知パネルに「PPPoEの設定を行ってください」と表示される。
（メッセージを消すまで表示されます。）
- 本製品のステータス（STATUS）ランプが橙点滅し、インターネットにつながらない。
- 本製品を接続する前の環境で、パソコンからPPPoE接続ツールを使ってダイヤルアップの操作をし、インターネット接続していた。

本製品にプロバイダの情報を登録する必要があります。「5-3-2 PPPoE接続に変更する」（p.73）または「5-3-4 マルチ PPPoE 接続に変更する」（p.78）へお進みください。

他のスマートフォンやパソコンを接続する

本製品はネットワーク接続方法や対応機種に応じて、「WPS接続」、「手動接続」および「有線接続」の３種類の接続方法があります。
以下の表をご覧になり、接続する機器に合わせて接続方法をお選びください。

接続方法	ネットワーク接続方法	対応機種	特長
WPS接続 	無線	WPS機能を搭載したスマートフォンまたはパソコンなど	WPSボタンがある機器を無線接続したいときに選択してください。
手動接続 	無線	スマートフォンまたは無線LAN接続可能なパソコンなど	WPSボタンがない機器を無線接続したいときに選択してください。
有線接続 	有線	パソコンのみ	有線で接続したいときに選択してください。

■ WPSで接続する（プッシュボタン方式） ☞（p.47）

■ 手動で接続する ☞（p.49）

■ 有線で接続する ☞（p.60）

4-1(A) WPSで接続する（プッシュボタン方式）

本製品本体のかんたん接続（SETTING）ボタンを使って、簡単に無線LAN設定を行うことができます。
ただし WPS 機能を使って設定するためには、接続する機器（スマートフォンやパソコン）がWPSに対応している必要があります。
WPSに対応していないときは、「4-1(B) 手動で接続する」（p.49）で設定してください。

ワンポイント

- WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、無線LAN関連の業界団体「Wi-Fiアライアンス」が策定した無線LANの簡単設定規格です。同じWPS対応の無線LANブロードバンドルータ（親機）と組み合わせて無線LANの設定や暗号化を簡単に行うことができる機能です。
- WPS接続の対象となるSSIDは、「SSID1」（WPA2方式、2.4GHz）と「SSID3」（WPA2方式、5GHz）です。

お読みください

- **設定を始める前に、あらかじめ以下を済ませてください。**
  - **「第２章 準備する」（p.29）を済ませ、本製品をインターネットに接続できる状態にしてください。**
  - **無線LANアダプタをパソコンにインストールしてください。**

1 WPS 対応の無線 LAN アダプタを装着したパソコンまたはスマートフォンを用意し、電源を入れる

本製品とパソコン／スマートフォンの電源が入っていることを確認してください。

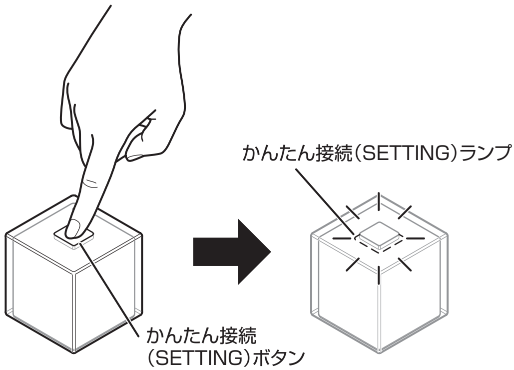
ワンポイント

- 本製品のWPS機能は、初期設定で「利用する」に設定されています。

他のスマートフォンやパソコンを接続する

2 本製品天面のかんたん接続（SETTING）ボタンを長押しする

かんたん接続（SETTING）ランプが橙点滅するまでボタンを押し続けてください。ランプが橙点滅したら、２分以内に手順3を行ってください。



3 WPS対応の無線LANアダプタまたはスマートフォンのWPSボタンを押す

WPSボタンを押した後は、何も操作せずに30秒～1分ほどお待ちください。接続が完了すると、かんたん接続（SETTING）ランプが緑点灯し、しばらくすると消灯します。

※ 接続に失敗したときは、かんたん接続（SETTING）ランプが赤点滅します。手順1からやり直すか、「4-1(B) 手動で接続する」（p.49）で接続してください。

ワンポイント

- WPSボタンの位置やボタンを押す時間の長さは、接続機器によって異なります。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「 WPS ステータス」（p.142、p.143）が「Unconfigured」になっていると、WPS接続が完了した時点で本製品が再起動します。

以上で接続は完了です。「4-2 インターネットにつながるかを確認する」（p.61）へお進みください。

4-1(B) 手動で接続する

お使いの機器によって以降の作業手順が異なります。お使いの機器に合わせてお進みください。

■ 4-1(B)-1 他のスマートフォン編 ☞（p.50）

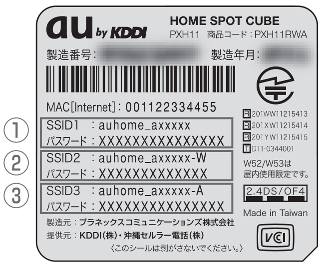
■ 4-1(B)-2 Windows 7編 ☞（p.51）

■ 4-1(B)-3 Windows XP編 ☞（p.54）

■ 4-1(B)-4 Mac OS X編 ☞（p.57）

ワンポイント

- 本製品に初期設定されているSSID（ネットワーク名）とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。



※ SSID とパスワードに表記されている「x」の部分は、製品ごとに異なります。

SSID	無線周波数	ネットワーク認証方式	接続機器
①SSID1	2.4 GHz	WPA2	スマートフォン、パソコン
②SSID2	2.4 GHz	WEP	ゲーム機
③SSID3	5 GHz	WPA2	スマートフォン、パソコン

お読みください

- 5GHzに対応していない場合は、SSID3「auhome_axxxxx-A」は表示されません。
- SSIDのネットワーク名を変更したときは、本製品にログインして、ネットワーク名を確認してください。詳しくは、「6-2 ステータス」（p.131）をご覧ください。

4-1(B)-1　他のスマートフォン編

※ Wi-Fi接続の設定をあらかじめ「ON（有効）」にしてください。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
※ お使いのスマートフォンによって、画面の表示が異なります。

1　無線LANの設定画面を表示する

無線LANの設定画面の表示方法は、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

2　本製品のSSID（ネットワーク名）をタップして、接続する

「auhome_axxxxx」（2.4GHz用）、「auhome_axxxxx-W」（2.4GHz用）または「auhome_axxxxx-A」（5GHz用）を選び、タップしてください。



Androidの場合



iPhoneの場合

ワンポイント

- 本製品に初期設定されているSSID（ネットワーク名）とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。

3　本製品のパスワードを入力する

4　接続状態になっているか確認する

以上で接続は完了です。「4-2 インターネットにつながるかを確認する」（p.61）へお進みください。

4-1(B)-2 Windows 7編

※ 内蔵無線LANを有効にするための「ON／OFF」スイッチがパソコン本体に付いているときは、あらかじめ「ON」にしてください。

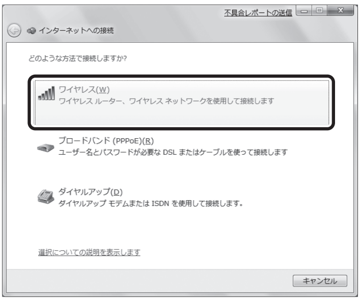
1 画面左下の「スタート」をクリックする

2 「コントロールパネル」をクリックする

3 「インターネットの接続」をクリックする



4 「ワイヤレス（W)」をクリックする

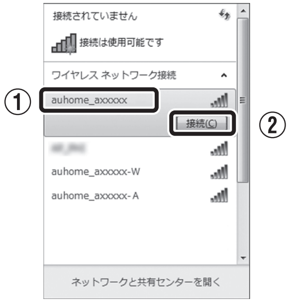


他のスマートフォンやパソコンを接続する

5 本製品のSSID（ネットワーク名）に接続する

① 「auhome_axxxxx」（2.4GHz用）、「auhome_axxxxx-W」（2.4GHz用）または「auhome_axxxxx-A」（5GHz用）を選択する

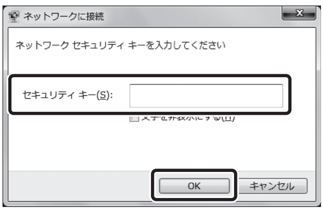
② ［接続］をクリックする



ワンポイント

- 本製品に初期設定されているSSID（ネットワーク名）とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。
- SSID（ネットワーク名）が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - ・ 画面右上の［ 更新］をクリックして更新してください。
  - ・ 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線LANがONになっているかを確認してください。

6 本製品のセキュリティキー（パスワード）を入力する



お読みください

- 「接続できませんでした」と表示されたときは、入力に誤りがあります。もう一度、手順1からやり直してください。

7 接続状態になっているかを確認する

① 画面右下のシステムトレイの「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをクリックする
②「接続」と表示されていることを確認する



お読みください

- 「制限付きアクセス」などと表示されたときは、2～3分ほどお待ちいただいてから、「接続」と表示されているかを確認してください。
- ウイルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

8 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選択する

以上で接続は完了です。「4-2 インターネットにつながるかを確認する」（p.61）へお進みください。

4-1(B)-3　Windows XP編

※　内蔵無線LANを有効にするための「ON／OFF」スイッチがパソコン本体に付いているときは、あらかじめ「ON」にしてください。

1　画面左下の「スタート」をクリックする

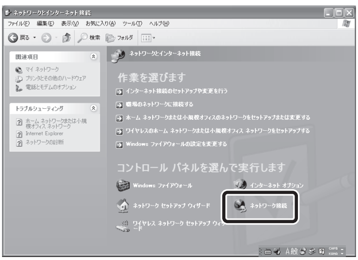
2　「コントロールパネル」をクリックする

3　「ネットワークとインターネットの接続」をクリックする

※　クラシック表示のときは、手順**3**をとばして手順**4**へ進んでください。



4　「ネットワーク接続」をクリックする



※　カテゴリ表示の場合



※　クラシック表示の場合

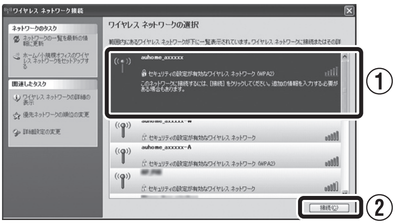
5 ワイヤレスネットワークを表示する

①「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックする
②「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックする



6 本製品のSSID（ネットワーク名）に接続する

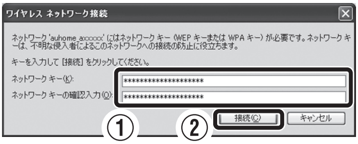
①「auhome_axxxxx」（2.4GHz用）、「auhome_axxxxx-W」（2.4GHz用）または「auhome_axxxxx-A」（5GHz用）を選択する
②［接続］をクリックする



ワンポイント

- 本製品に初期設定されているSSID（ネットワーク名）とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。
- SSID（ネットワーク名）が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - ・ 画面右上の［ネットワーク一覧の更新］をクリックして更新してください。
  - ・ 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線LANがONになっているかを確認してください。

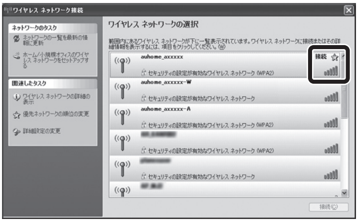
7 本製品のネットワークキー（パスワード）を入力する



お読みください

- 「接続できませんでした」と表示されたときは、入力に誤りがあります。もう一度、手順**1**からやり直してください。

8 「接続」と表示されていることを確認する



お読みください

- 「ネットワークアドレス取得中」から「接続」に切り替わらないときは、入力に誤りがあります。［切断］をクリックし、もう一度手順**1**からやり直してください。
- ウイルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

以上で接続は完了です。「4-2 インターネットにつながるかを確認する」（p.61）へお進みください。

4-1(B)-4 Mac OS X編

※ 本書で使用している画面はMac OS X 10.5の画面です。表示される画面はMac OSのバージョンによって異なります。

1 「AirMac」を「入」にする

① 画面右上のメニューバーの「 AirMac」をクリックする
②「AirMacを入にする」をクリックする

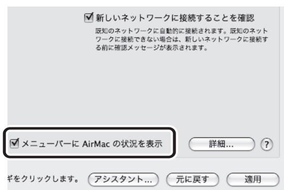
※ 「AirMac を切にする」と表示されているときは、手順 1 をとばして手順 2 へ進んでください。



ワンポイント

- メニューバーに「 AirMac」が表示されていないときは、以下の手順で表示を有効にし、もう一度手順 1 からやり直してください。

(1) 画面右上のアップルメニュー をクリックする
(2) 「システム環境設定」をクリックする
(3) 「ネットワーク」をクリックする
(4) ネットワーク画面左の「AirMac」をクリックする
(5) ネットワーク画面内の「メニューバーにAirMacの状況を表示」のチェックをオンにする



(6) 画面を閉じる

2 本製品のSSID（ネットワーク名）に接続する

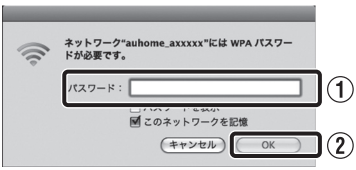
① 画面右上のメニューバーの「 AirMac」をクリックする
② 「auhome_axxxxx」（2.4GHz用）、「auhome_axxxxx-W」（2.4GHz用）または「auhome_axxxxx-A」（5GHz用）を選択する



ワンポイント

- 本製品に初期設定されているSSID（ネットワーク名）とパスワードは、本製品底面のラベルを確認してください。
- SSID（ネットワーク名）が表示されないときは、もう一度メニューバーの「 AirMac」をクリックしてください。

3 本製品のパスワード（暗号化キー）を入力する



お読みください

- 「接続で問題がありました」と表示されたときは、入力に誤りがあります。[OK] をクリックし、もう一度手順1からやり直してください。

4 接続状態になっているか確認する

① 画面右上のメニューバーの「 AirMac」をクリックする
② 本製品のSSID（ネットワーク名）にチェックマークが付いていることを確認する

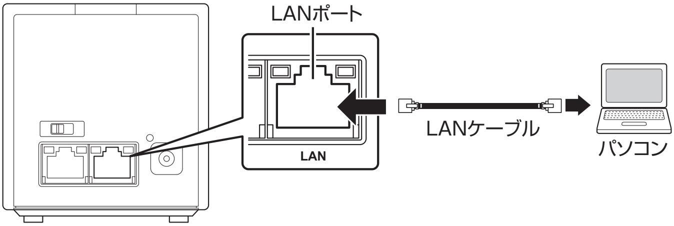


以上で接続は完了です。「4-2 インターネットにつながるかを確認する」（p.61）へお進みください。

4-1(C) 有線で接続する

1 本製品のLANポートと、パソコンのLANポートをLANケーブルで接続する

※ LANケーブルは別途用意してください。



2 パソコンの電源を入れる

お読みください

- パソコンのネットワーク設定が、Windows の場合は「IP アドレスを自動取得する」に、Mac OSの場合は「DHCPサーバを参照」にする必要があります。上記設定以外のときは、「7-1 パソコンの設定について」(p.160)をご覧になり、パソコンの設定を変更してください。

以上で接続は完了です。「4-2 インターネットにつながるかを確認する」(p.61)へお進みください。

4-2 インターネットにつながるかを確認する

インターネットにつなぎ、ネットワーク接続を確認します。

1 ブラウザを起動する

ブラウザを起動してください。



2 URL入力欄に「http://au.kddi.com/」と入力して、インターネットにつながることを確認する



■ ホームページが正しく表示された

インターネットをご利用いただけます。

こんなときには

■ 以下に該当するお客様は…

- 本製品のステータス（STATUS）ランプが橙点滅し、インターネットにつながらない。
- 本製品を接続する前の環境で、パソコンから PPPoE 接続ツールを使ってダイヤルアップの操作をし、インターネット接続していた。

本製品にプロバイダの情報を登録する必要があります。「5-3-2 PPPoE接続に変更する」（p.73）または「5-3-4 マルチ PPPoE 接続に変更する」（p.78）へお進みください。

使いこなす

5-1 設定画面（WebUI）にログインする

■ auのスマートフォンでログインする

※ お使いのスマートフォンによって、画面の表示が異なります。

お読みください

- 「au Wi-Fi接続ツール」を使って設定画面（WebUI）にログインします。iPhoneや他社のスマートフォンをお使いの場合は、ログイン方法が異なりますので、「他のスマートフォンやパソコンでログインする」（p.66）をご覧ください。

1 お使いのauスマートフォンの電源を入れる

2 「au Wi-Fi接続ツール」を起動する

① メインメニューキーをタップする
② [au Wi-Fi接続ツール] をタップする



使いこなす

3 ［本体の設定］をタップする

本製品に接続し、ログイン画面が表示されます。



4 本製品の設定画面にログインする

①「名前」に「au」を半角英字で入力する
②「パスワード」に「1234」を半角数字で入力する
③［ログイン］をタップする



ワンポイント

- ログインするときの「名前」と「パスワード」は変更することができます。詳しくは、「5-9 ユーザー名とパスワードを変更する」（p.119）をご覧ください。

ログインに成功すると、設定画面のトップページが表示されます。

※　設定画面にログインできないときは、「こんなときには」（p.68）をご覧ください。

設定画面の詳しい内容については、「第 6 章 詳細設定（メニューリスト）」（p.129）をご覧ください。



本書では、設定画面にログインした後の操作は、パソコンの操作のみ記載しております。スマートフォンで操作するときは、パソコンの操作を参考に実際の画面を見て操作してください。

■ 他のスマートフォンやパソコンでログインする

※ 画面はWindows7でログインするときの画像を記載しております。

1 他のスマートフォンやパソコンの電源を入れ、ブラウザを起動する

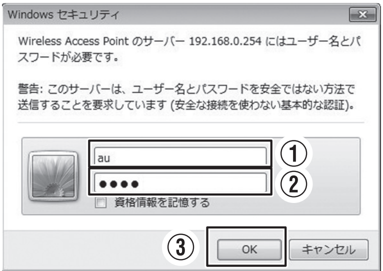
お使いのブラウザを起動してください。

2 URL 入力欄に IP アドレス「192.168.0.254」を入力し、<Enter>キーを押す

本製品に接続すると、ログイン画面が表示されます。

3 本製品の設定画面にログインする

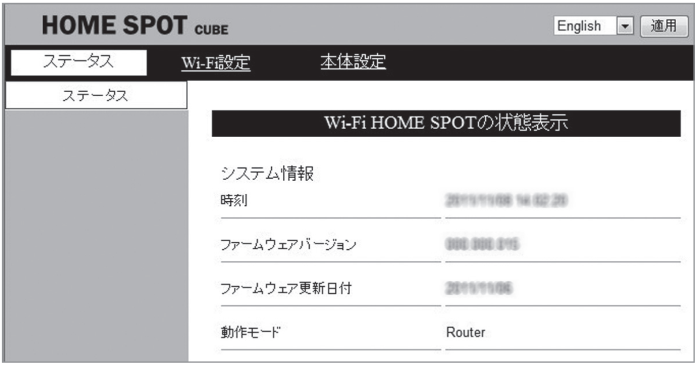
① 「ユーザー名」に「au」を半角英字で入力する
② 「パスワード」に「1234」を半角数字で入力する
③ [OK] をクリック（タップ）する



ワンポイント

- ログインするときの「ユーザー名」と「パスワード」は変更することができます。詳しくは、「5-9 ユーザー名とパスワードを変更する」（p.119）をご覧ください。

ログインに成功すると、設定画面のステータスページが表示されます。



※　設定画面にログインできないときは、「こんなときには」（p.68）をご覧ください。

設定画面の詳しい内容については、「第 6 章 詳細設定（メニューリスト）」（p.129）をご覧ください。

■ 設定画面にログインできない

設定画面にログインできないときは、以下の方法を試してください。

1 ブラウザのURL入力欄にIPアドレス「192.168.1.254」を入力し、ログインできるかを試す

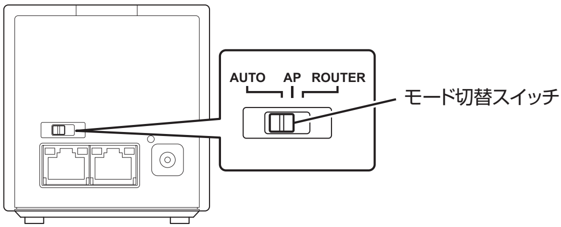
2 IPアドレスを「192.168.1.254」にしてもログインできないときは、次の操作を行う

① コンセントからACアダプタを抜いて本製品の電源を切る
② 本製品背面のWANポートからLANケーブルを抜く
③ 本製品背面のモード切替スイッチが「AUTO」になっていることを確認する
④ ACアダプタをコンセントに接続して本製品の電源を入れる
⑤ ブラウザのURL入力欄にIPアドレス「192.168.0.254」を入力してログインする

※ 設定画面での設定が完了したら、本製品の電源を切ってからWANポートにLANケーブルを接続し、本製品の電源を入れてください。

5-2 動作モードを切り替える

本製品の背面にあるモード切替スイッチで、本製品の動作モードを切り替えられます。
お使いのネットワーク構造に合わせて、「オートモード（AUTO）」、「アクセスポイントモード（AP）」および「ルータモード（ROUTER）」のいずれかを選択してください。



モード名	内容
オートモード（AUTO）	お使いのネットワーク環境に合わせて、「ルータモード（ROUTER）」と「アクセスポイントモード（AP）」のうち、最適なモードに切り替えて動作します。
アクセスポイントモード（AP）	「アクセスポイントモード（AP）」（ルータ機能無効）で動作します。他にお使いのブロードバンドルータがあるときに設定します。
ルータモード（ROUTER）	「ルータモード（ROUTER）」（ルータ機能有効）で動作します。強制的にルータ機能を有効にしたいときに設定します。

ワンポイント

- 本製品は出荷時に「オートモード（AUTO）」に設定されております。
- モード切替スイッチで動作モードを切り替えると、本製品は起動中・停止中にかかわらず、切り替えた動作モードに移行します。

5-3 WANの接続を変更する

「WANの設定」画面でWANの接続の種類を「DHCP接続(通常接続)」、「PPPoE接続」、「固定IP接続」または「マルチPPPoE接続」のいずれかに変更できます。「WAN の設定」画面は、モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときにのみ表示されます。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-1 WANの設定」(p.144)をご覧ください。

5-3-1　DHCP接続（通常接続）に変更する

インターネットプロバイダのDHCPサーバから供給されるIPアドレスを使用してインターネットに接続します。

※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

1 「本体設定」を選択する

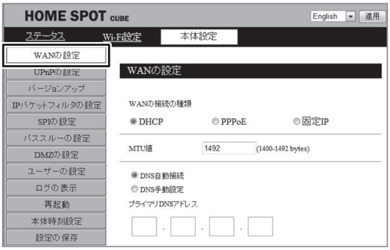
本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。

画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。



使いこなす

3 WANの設定をする

①「WANの接続の種類」で「DHCP」を選択する

「DHCP」の設定画面が表示されます。

②［適用］をクリック（タップ）する

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。



ワンポイント

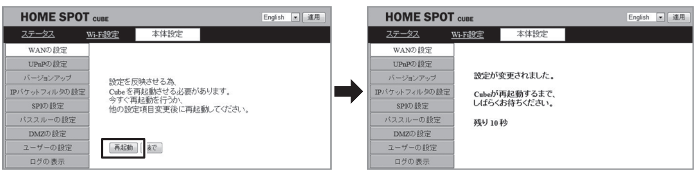
- 「MTU値」、「DNS自動接続」/「DNS手動設定」、「プライマリ DNS アドレス」/「セカンダリ DNS アドレス」/「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6-4-1 WAN の設定」（p.144）をご覧ください。

お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

5-3-2　PPPoE接続に変更する

プロバイダの情報を登録し、インターネットに接続します。

※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

1 「本体設定」を選択する

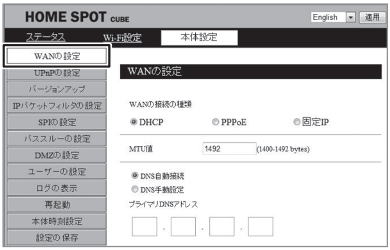
本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。

画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。



3 「WANの接続の種類」で「PPPoE」を選択する

「PPPoE」の設定画面が表示されます。



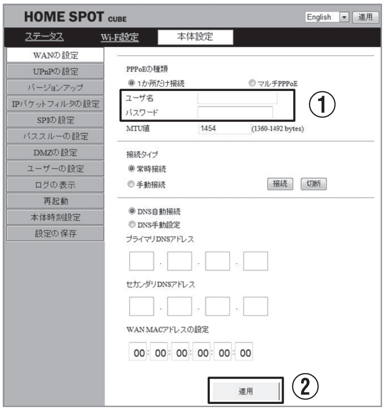
4 「PPPoEの種類」で「1か所だけ接続」を選択する



ワンポイント

- サービス情報サイト（旧フレッツ・スクウェア）回線とインターネット回線の同時接続（マルチ PPPoE 接続）をしたいときは、「5-3-4 マルチ PPPoE 接続に変更する」（p.78）をご覧ください。

5 WANの設定をする



① プロバイダ指定の「ユーザ名」と「パスワード」を入力する

② [適用] をクリック（タップ）する

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

ワンポイント

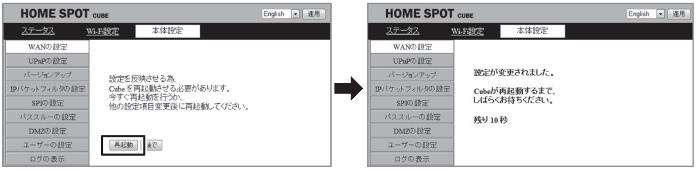
- 「MTU 値」、「常時接続」/「手動接続」、「DNS 自動接続」/「DNS 手動設定」、「プライマリ DNS アドレス」/「セカンダリ DNS アドレス」/「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6-4-1 WAN の設定」（p.144）をご覧ください。

お読みください

- **[適用] をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック（タップ）してください。**

6 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

5-3-3　固定IP接続に変更する

プロバイダや上位のルータから割り当てられた情報を登録して、インターネットに接続します。

※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

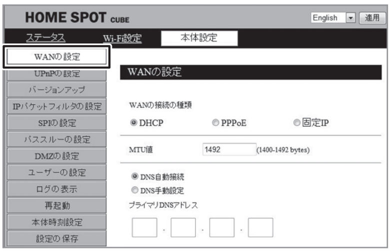
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。

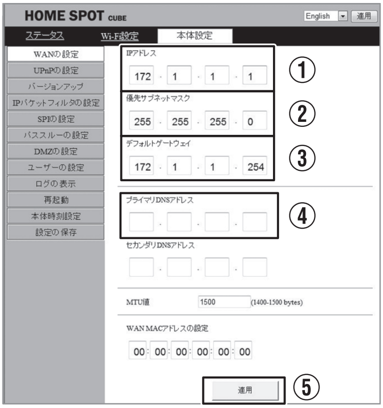


3 「WANの接続の種類」で「固定IP」を選択する

「固定IP」の設定画面が表示されます。



4 WANの設定をする



① プロバイダや上位のルータから割り当てられた「IP アドレス」を入力する
② プロバイダや上位のルータから割り当てられた「優先サブネットマスク」を入力する
③ プロバイダや上位のルータから割り当てられた「デフォルトゲートウェイ」のアドレスを入力する
④ プロバイダや上位のルータから割り当てられた「プライマリDNS アドレス」に IP アドレスを入力する
⑤ [適用] をクリック(タップ)する

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

ワンポイント

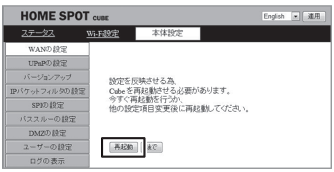
- 「MTU値」、「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6-4-1 WANの設定」(p.144)をご覧ください。

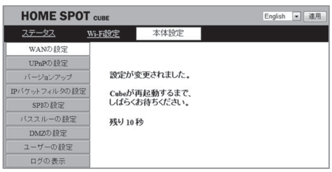
お読みください

- **[適用] をクリック(タップ)しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック(タップ)してください。**

5 [再起動] をクリック(タップ)する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。





ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、[後で] をクリック(タップ)してください。元の設定画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

5-3-4 マルチPPPoE接続に変更する

PPPoEのマルチセッション機能を利用して、サービス情報サイト（旧フレッツ・スクウェア）の回線とインターネットの回線を同時に接続します。

※「5-2 動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

1 「本体設定」を選択する

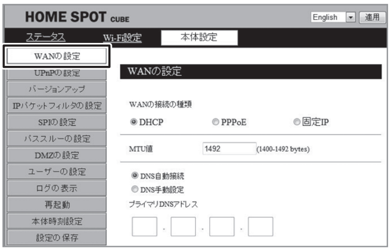
本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。

画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「WANの設定」を選択する

「WANの設定」画面が表示されます。



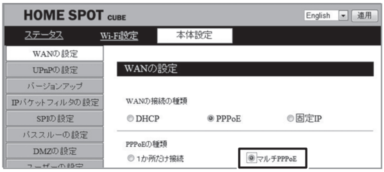
3 「WANの接続の種類」で「PPPoE」を選択する

「PPPoE」の設定画面が表示されます。



4 「PPPoEの種類」で「マルチPPPoE」を選択する

「マルチPPPoE」の設定画面に表示が切り替わります。



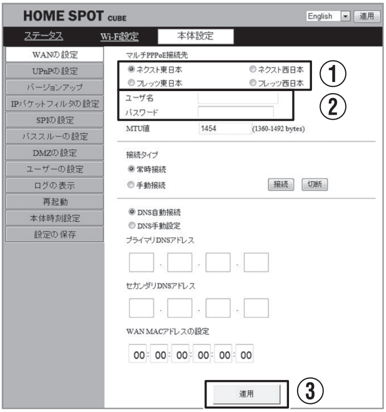
5 WANの設定をする

① サービス情報サイト（旧フレッツ・スクウェア）回線を「ネクスト東日本」、「ネクスト西日本」、「フレッツ東日本」または「フレッツ西日本」のいずれかから選択する

② プロバイダ指定の「ユーザ名」と「パスワード」を入力する

③［適用］をクリック（タップ）する

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。



ワンポイント

- 「MTU値」、「常時接続」／「手動接続」、「DNS自動接続」／「DNS手動設定」、「プライマリDNSアドレス」／「セカンダリDNSアドレス」／「WAN MACアドレスの設定」について詳しくは、「6-4-1 WANの設定」（p.144）をご覧ください。

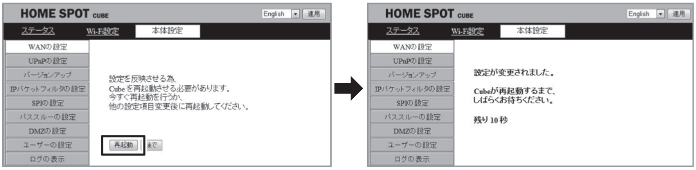
お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**

※「サービス情報サイト（旧フレッツ・スクウェア）」、「フレッツ」、「ネクスト」は、NTT東日本およびNTT西日本のサービスです。

6 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

以上で設定は完了です。

5-4 PINコードでWPS接続する

お使いの無線LAN機器とPINコード方式でWPS接続します。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-6 WPS PIN コード」（p.142）をご覧ください。

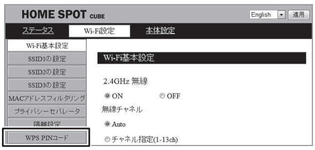
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「WPS PINコード」を選択する

「WPS PINコード」画面が表示されます。



3 設定したい周波数（2.4GHzまたは5GHz）の「WPSの有効化」が「利用する」になってることを確認する

「利用しない」が選択されているときは、下記の設定を行ってください。

- 2.4GHz／5GHz無線→「ON」（p.91）
- ANY接続→「許可する」（p.98）
- MACアドレスフィルタリング→「無効」（p.100）



4 接続する無線LAN機器でPINコード発行を開始する

PINコードの発行方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

5 手順4で発行したPINコードを、「接続機器のPINコード」に入力する



6 ［WPS の開始］をクリック（タップ）し、接続する機器の「WPS開始」を実行する

かんたん接続（SETTING）ランプが橙点滅します。



お使いの無線LAN機器で、インターネットの接続が可能かを確認してください。

お読みください

- **接続に失敗すると、かんたん接続（SETTING）ランプが赤点滅します。そのときは、ランプが消灯してから、再度手順4以降の操作を行ってください。**

ワンポイント

- お使いの無線LAN機器でインターネットの接続ができないときは、無線LAN機器を再起動してください。

5-5 Wi-Fiの設定を変更する

5-5-1　暗号化を変更する

本製品は、無線通信の暗号化を SSID ごとに「なし」、「WEP」、「WPA」、「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」のいずれかで設定することができます。

項目名	内容
WPA／ WPA2／ WPA/WPA2 mixed mode	「プレシェアードキー」を使用して、無線通信を暗号化します。
WEP	「WEP」キーを使用して、無線通信を暗号化します。「WEP 64 bit」または「WEP 128 bit」のどちらかで無線通信を暗号化します。
なし	暗号化なしで無線通信します。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-2 SSID1／SSID2／SSID3の設定」（p.135）をご覧ください。

ワンポイント

- WEPとは、無線LANセキュリティの中で最も弱い暗号化方式で、アクセスポイントとクライアントに共通の暗号化キー（WEPキー）を設定します。
- WPA および WPA2 とは、WEP をより強化した無線 LAN のセキュリティ規格です。WPA/WPA2では、「プレシェアードキー」と呼ばれる暗号化キーを用い、WEPと同様にアクセスポイントとクライアントに共通の暗号化キーを設定します。WPA2 は「AES」が標準化され、WPAよりもさらに強固なセキュリティです。

お読みください

- **暗号化方式を「なし」に設定すると、第三者に無線通信の内容を傍受されたり、不正なネットワークアクセスを受けたりする可能性があります。暗号化方式を設定してお使いいただくことをおすすめします。**
- **本製品の初期状態で、すでに無線LAN接続している機器があるときは、変更した内容で再接続してください。**

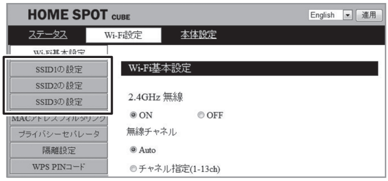
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi 設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「SSID1の設定」、「SSID2の設定」または「SSID3の設定」のいずれかを選択する

暗号化方法を設定したい SSID を選択して、「SSID 設定」画面を表示してください。



3 「通信の暗号化方法」を設定する

選択した暗号化方法に合わせて、設定画面の項目内容が変わります。

ワンポイント

- 「WEP」および「WPA」は、「SSID2の設定」のときのみ表示されます。
- 「WPA/WPA2 mixed mode」は、「SSID1の設定」または「SSID3の設定」のときに表示されます。

変更したい暗号化方式に合わせて、お進みください。

■「通信の暗号化方法」を「WPA」、「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」にするとき ☞（p.85）

■「通信の暗号化方法」を「WEP」にするとき ☞（p.86）

■「通信の暗号化方法」を「なし」にするとき ☞（p.87）

■「通信の暗号化方法」を「WPA」、「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」にするとき



※ 画面は「SSID3 の設定」で「通信の暗号化方法」に「WPA2」を選択したときの画像を使用しております。
※ 「WPA/WPA2 mixed mode」が設定できるメニューは、「SSID1の設定」と「SSID3の設定」です。
※ 「WPA」が設定できるメニューは、「SSID2の設定」のみです。

①「通信の暗号化方法」を「WPA」、「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」にする

②必要に応じて「通信の暗号化キー（プレシェアード）」を変更する

ワンポイント

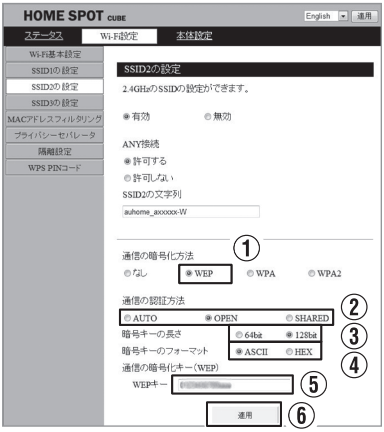
- 暗号化キーは、8～63文字の半角数字と「a」～「z」、「A」～「Z」の半角英字、および下記の記号の文字列で設定できます。
  ! ″ # $ % & ’ ( ) ＊ + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ˜

③［適用］をクリック（タップ）する

手順4へお進みください。

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

■「通信の暗号化方法」を「WEP」にするとき



※ 「WEP」が設定できるメニューは、「SSID2の設定」のみです。

①「通信の暗号化方法」を「WEP」にする

②「通信の認証方法」を「AUTO」、「OPEN」または「SHARED」のいずれかから選択する

AUTO ： 自動でOPENかSHAREDを判別します。
OPEN ： 共有キーを使用しません。
SHARED ： 共有キーを使用します。

③「暗号キーの長さ」を「64bit」または「128bit」のどちらかから選択する

64bit ： 暗号化キーを5文字（ASCII）または10文字（HEX）で設定します。
128bit ： 暗号化キーを13文字（ASCII）または26文字（HEX）で設定します。

④「暗号キーのフォーマット」を「ASCII」または「HEX」のどちらかから選択する

ASCII ： WEPキーに半角数字と「a」～「z」、「A」～「Z」の半角英字を使用します。
HEX ： WEPキーに半角数字と「a」～「f」、「A」～「F」の半角英字を使用します。

⑤ 必要に応じて「通信の暗号化キー（WEP)」を変更する

ワンポイント

- 暗号化キーの文字数は、「暗号キーの長さ」と「暗号キーのフォーマット」の組み合わせによって異なります。詳しくは、以下の表をご覧ください。

	HEX（16進数）	ASCII（文字列）
64bit	10文字	5文字
128bit	26文字	13文字

設定例）5文字の暗号化キーを設定するときは、以下のように設定します。
暗号キーの長さ：64bit
暗号キーのフォーマット：ASCII

⑥［適用］をクリック（タップ）する

手順**4**へお進みください。

■「通信の暗号化方法」を「なし」にするとき

①「通信の暗号化方法」を「なし」にする
②［適用］をクリック（タップ）する

その他は特に設定する必要はありません。手順**4**へお進みください。



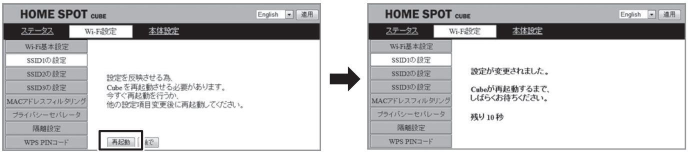
※ 画面は「SSID1の設定」で「通信の暗号化方法」に「なし」を選択したときの画像を使用しております。

お読みください

- ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-5-2　SSID（ネットワーク名）を変更する

SSID（ネットワーク名）を初期名称から変更します。
以下は初期設定されているSSIDの一覧です。

SSID番号	使用周波数	デフォルトネットワーク名	接続機器
SSID1	2.4 GHz	auhome_axxxxx	スマートフォン/パソコン
SSID2	2.4 GHz	auhome_axxxxx-W	ゲーム機
SSID3	5.0 GHz	auhome_axxxxx-A	スマートフォン/パソコン

※ 「xxxxx」の部分は製品ごとに異なります。本体底面のラベルをご覧ください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-2 SSID1／SSID2／SSID3の設定」（p.135）をご覧ください。

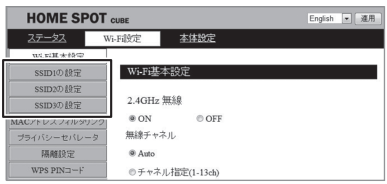
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「SSID1の設定」、「SSID2の設定」または「SSID3の設定」のいずれかを選択する

SSID名を変更したいSSIDを選択して、「SSID設定」画面を表示してください。



3 SSID名を変更する

①「SSID＊の文字列」に変更したいSSID名を入力する（＊は選択したSSIDの番号）

最大 32 文字の半角英数字でSSID名を入力してください。



②［適用］をクリック（タップ）する

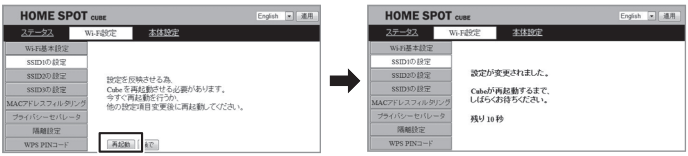
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**
- **SSIDを変更する前に、本製品に接続している機器があるときは、接続し直してください。**

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-5-3　Wi-Fi基本設定を変更する

本製品は、無線の混信を防ぐため、2.4 GHzと5 GHzの無線LANチャネルをそれぞれ個別に設定できます。「無線チャネル」を「AUTO」に設定すると、使用していないチャネル番号を自動で割り当てます。

周波数	チャネル	規格
2.4 GHz	1～13ｃｈ、AUTO	IEEE802.11b/g/n互換
5 GHz	36／40／44／48ch、AUTO	IEEE802.11a/n互換

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-1 Wi-Fi基本設定」（p.133）をご覧ください。

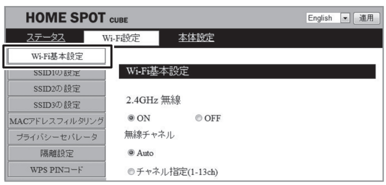
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



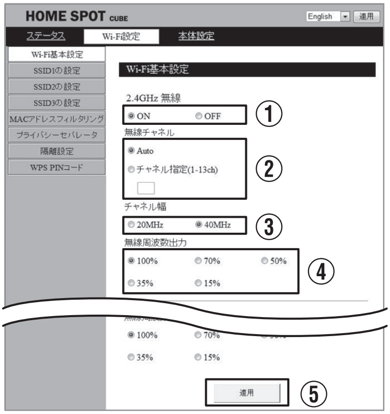
2 「Wi-Fi基本設定」を選択する

「Wi-Fi基本設定」画面が表示されます。



使いこなす

3 Wi-Fiの基本設定を変更する



① 2.4GHzまたは5GHzの周波数で「ON」が選択されていることを確認する

「OFF」が選択されているときは、「ON」に変更してください。

② チャネル番号を設定する

無線チャネルの「Auto」または「チャネル指定」を選択してください。

「Auto」を選択したときは、チャネル番号が自動で設定されます。

2.4GHz周波数の「チャネル指定」を選択したときは、指定するチャネル番号を「1」～「13」の半角数字で入力してください。

5GHz周波数の「チャネル指定」を選択したときは、指定するチャネル番号を「36」、「40」、「44」または「48」の半角数字で入力してください。

ワンポイント

- 同一のSSID内で無線通信するには、チャネル番号を同じにする必要があります。特に指定しない場合は、「Auto」を選択することをおすすめします。
  また、チャネル番号が近い数字のときは、電波が干渉する場合があります。なるべく数字の離れたチャネル番号を指定してください。

③「チャネル幅」で「20MHz」または「40MHz」のどちらかを選択する

数値が大きいほど通信速度が向上します。通常は「40MHz」を選択してください。

④「無線周波数出力」で「100%」、「70%」、「50%」、「35%」または「15%」のいずれかを選択する

数値が大きいほど無線電波が遠くに届きます。通常は「100%」を選択してください。集合住宅などで、無線電波を遠くに飛ばしたくないときは、小さな数値を選択してください。

⑤［適用］をクリック（タップ）する

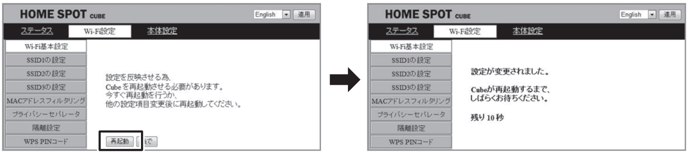
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-6 セキュリティ機能を使用する

5-6-1　プライバシーセパレータを使用する

本製品に接続している機器同士のアクセス（共有フォルダなどへのアクセス）を禁止します。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-4 プライバシーセパレータ」（p.140）をご覧ください。

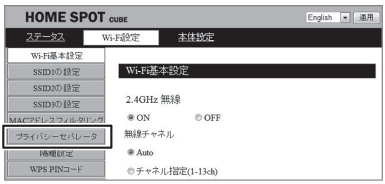
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

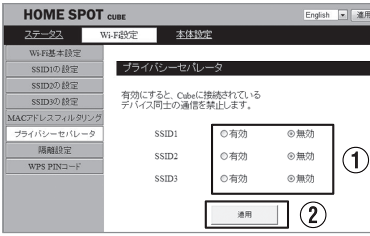


2 「プライバシーセパレータ」を選択する

「プライバシーセパレータ」画面が表示されます。



3 プライバシーセパレータを使用する



① プライバシーセパレータを使用したいSSIDで「有効」を選択する

② [適用] をクリック（タップ）する

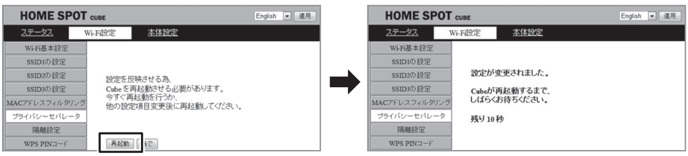
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- [適用] をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック（タップ）してください。

4 [再起動] をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、[後で] をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-6-2　隔離設定を使用する

同じSSIDに接続している無線LAN機器とのアクセスと、インターネットの接続を許可し、有線LANや他のSSIDとの通信を禁止します。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-5 隔離設定」（p.141）をご覧ください。

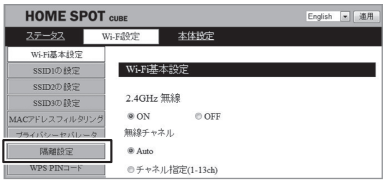
1　「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2　「隔離設定」を選択する

「隔離設定」画面が表示されます。



使いこなす

3 隔離設定を使用する



① 隔離設定したいSSIDで「有効」を選択する

② [適用] をクリック（タップ）する

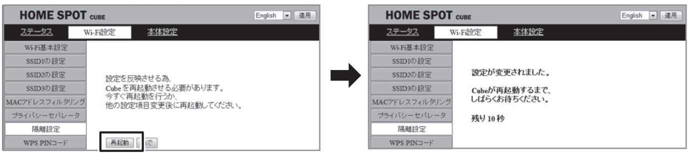
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- [適用] をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック（タップ）してください。

4 [再起動] をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、[後で] をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-6-3 Wi-Fi ANY接続を設定する

SSID ごとにANY 接続の許可／拒否を設定することができます。
「許可する」に設定すると、無線LAN機器からSSIDが検索できるようになり、ANY接続も受け付けます。
「許可しない」に設定するとSSIDが検索できなくなり、SSIDを知らない無線LAN機器からの接続ができなくなります。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-2 SSID1／SSID2／SSID3の設定」（p.135）をご覧ください。

お読みください

- **初期設定は「許可する」に設定されています。**
- **「許可しない」に設定すると、「WPS接続」は使用できません。**
- **「許可しない」に設定しても、「かんたん接続」は使用できます。**

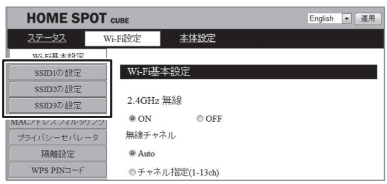
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

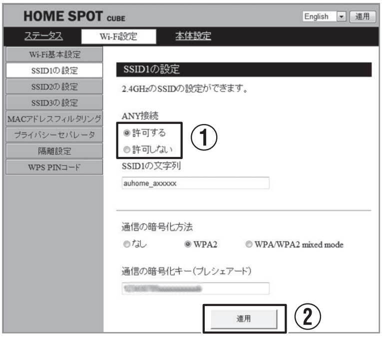


2 「SSID1の設定」、「SSID2の設定」または「SSID3の設定」のいずれかを選択する

ANY接続の設定を変更したいSSIDを選択して、「SSID設定」画面を表示してください。



3 ANY接続を設定する



① ANY接続を拒否するときは「許可しない」を、許可するときは「許可する」を選択する

② [適用] をクリック (タップ) する

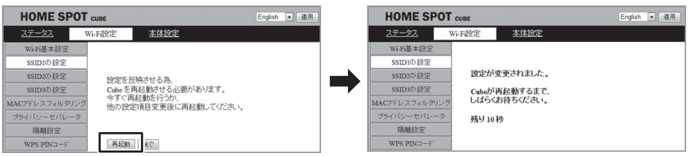
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- [適用] をクリック (タップ) しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック (タップ) してください。

4 [再起動] をクリック (タップ) する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、[後で] をクリック (タップ) してください。元の設定画面に戻ります。

5-6-4 MACアドレスフィルタを使用する

MACアドレスを登録した機器のみ本製品へのアクセスを許可し、登録の無い機器はアクセスを禁止します。
最大で32個まで設定できます。

※ MACアドレスフィルタを有効にするときは、はじめに本製品に接続している無線LAN機器のMACアドレスを登録してください。
※ MACアドレスフィルタを有効にすると、「WPS接続」は使用できません。
※ 有線LAN接続機器は、フィルタリングの対象外です。

各設定項目の内容や設定値については、「6-3-3 MACアドレスフィルタリング」（p.139）をご覧ください。

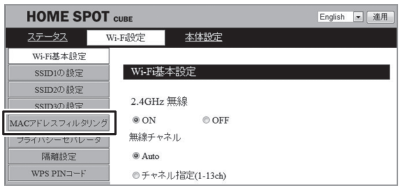
1 「Wi-Fi設定」を選択する

本製品にログインし、「Wi-Fi設定」を選択して、「Wi-Fi設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

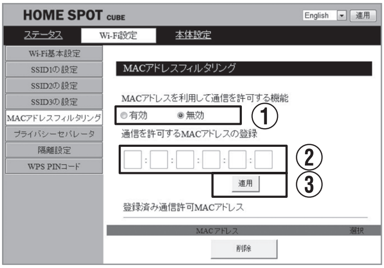


2 「MACアドレスフィルタリング」を選択する

「MACアドレスフィルタリング」画面が表示されます。



3 MACアドレスフィルタを利用する



①「有効」を選択する
② アクセスを許可する機器のMACアドレスを入力する
③［適用］をクリック（タップ）する

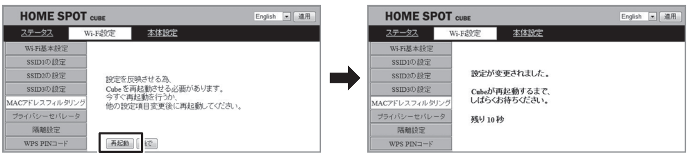
［適用］をクリック（タップ）すると「登録済み通信許可MACアドレス」に入力したMACアドレスが登録され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。
- MACアドレスを更に登録するときは、［適用］をクリック（タップ）した後に［後で］をクリック（タップ）し、手順**3**を繰り返してください。
- MACアドレスを登録から削除したいときは、削除したいMACアドレスの横にある［選択］にチェックを入れ、［削除］をクリック（タップ）してください。登録したMACアドレスが削除されます。

5-6-5 IPパケットフィルタを使用する

本製品をルータモードで使用しているときに、宛先 / 送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークができます。
フィルタを適用する通信インタフェースの「WAN」側と「LAN」側、それぞれ最大で20個まで設定できます。
※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-4 IPパケットフィルタの設定」（p.148）をご覧ください。

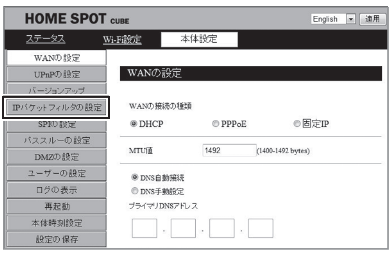
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

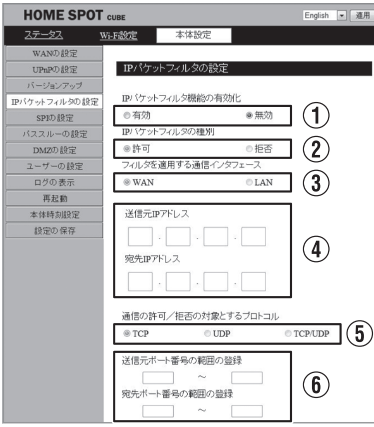


2 「IPパケットフィルタの設定」を選択する

「IPパケットフィルタの設定」画面が表示されます。



3 IPパケットフィルタを使用する



①「IPパケットフィルタ機能の有効化」を「有効」にする

「有効」を選択するとIPパケットフィルタを使用して、登録したIPアドレスやポート番号の通信を許可／拒否できます。フィルタを使用しないときは、「無効」を選択してください。

②「IPパケットフィルタの種別」を「許可」または「拒否」にする

「許可」を選択すると通信を許可するIPアドレスやポート番号が登録できます。「拒否」を選択すると通信を拒否するIPアドレスやポート番号が登録できます。

③「フィルタを適用する通信インタフェース」を「WAN」または「LAN」にする

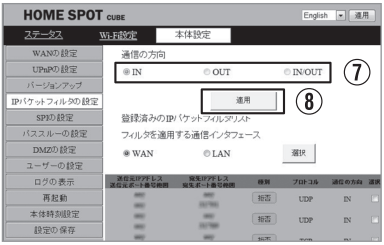
④通信の許可／拒否の対象となる「送信元IPアドレス」と「宛先IPアドレス」にIPアドレスを半角数字で入力する

⑤「通過許可／拒否の対象とするプロトコル」を、「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」のいずれかから選択する

通信許可／拒否するプロトコルの種類を選択してください。

TCP	：	TCPデータのみ通信を許可／拒否します。
UDP	：	UDPデータのみ通信を許可／拒否します。
TCP/UDP	：	TCPとUDPのデータ両方の通信を許可／拒否します。

⑥通信の許可／拒否の対象となる「送信元ポート番号の範囲の登録」と「宛先ポート番号の範囲の登録」にポート番号を半角数字で入力する



⑦「通信の方向」を、「IN（宛先→送信元）」、「OUT（送信元→宛先）」、「IN/OUT（両方）」のいずれかから選択する

⑧［適用］をクリック（タップ）する

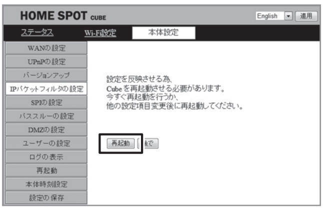
［適用］をクリック（タップ）すると「登録済みIPパケットフィルタリスト」に入力した IP パケットフィルタ情報が登録され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。
- 誤った設定により、一切の通信が行えなくなることがあります。そのときは、登録したフィルタ情報を削除してください。

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。





ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。
- IPパケットフィルタリストから情報を削除したいときは、削除したい情報の横にある［選択］にチェックを入れ、［削除］をクリック（タップ）してください。登録したフィルタ情報が削除されます。
- IPパケットフィルタ情報を更に登録するときは、［適用］をクリック（タップ）した後に［後で］をクリック（タップ）し、手順3を繰り返してください。

5-7 パケット転送機能を使用する

5-7-1　UPnPを使用する

本製品をルータモードで使用しているときに、ネットワーク上にある様々な機器を、接続しただけでお使いのネットワークに参加することができます。
接続機器がUPnPに対応している必要があります。
※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-2 UPnP の設定（ポートフォワーディング）」（p.146）をご覧ください。

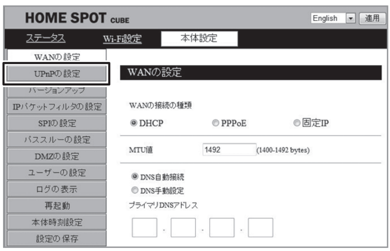
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

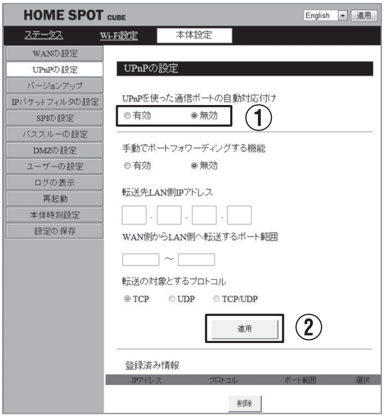


2 「UPnPの設定」を選択する

「UPｎPの設定」画面が表示されます。



3 UPnPを使用する



①「UPnPを使った通信ポートの自動対応付け」を「有効」にする
②［適用］をクリック（タップ）する

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

● ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。





ワンポイント

● 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-7-2 パススルーを使用する

プロトコルやIPアドレスの変換を行わずに、パケットを通過させることができます。

※「5-2 動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-6 パススルーの設定」（p.151）をご覧ください。

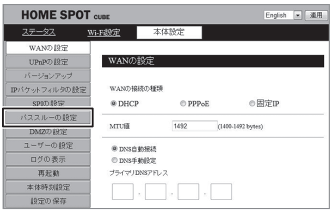
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

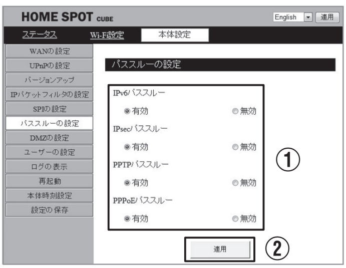


2 「パススルーの設定」を選択する

「パススルーの設定」画面が表示されます。



3 パススルーを使用する



① パススルーしたいプロトコルを「有効」にする

「有効」にしたプロトコルの通信がパススルー処理されます。

<table>
<tr><td>IPv6パススルーを有効にする</td><td>IPv6プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 パススルー機能を使用して、IPv6による通信を行うことができます。</td></tr>
<tr><td>IPsecパススルーを有効にする</td><td rowspan="2">VPN接続を使用する場合に、インターネットを経由してLAN側のIPsec/PPTPクライアントからWAN側のIPsec/PPTPサーバにアクセスすることを可能にします。
また、WAN側のIPsec/PPTPクライアントからLAN側のIPsec/PPTPサーバにアクセスするように設定することも可能です。</td></tr>
<tr><td>PPTPパススルーを有効にする</td></tr>
<tr><td>PPPoEパススルーを有効にする</td><td>PPPoEブリッジ機能を有効にすると直接グローバル IP アドレスを取得することができ、特定のアプリケーションを利用することができます。</td></tr>
</table>

② [適用] をクリック（タップ）する

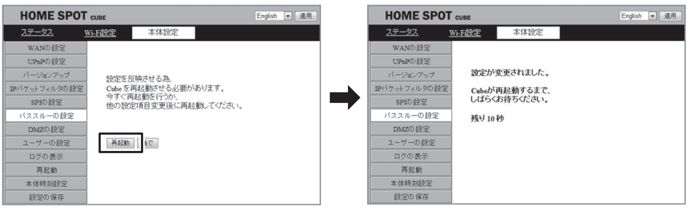
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- **[適用] をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック（タップ）してください。**

4 [再起動] をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、[後で] をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-7-3　ポートフォワーディングを使用する

特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあったときに、本製品のLAN側にある機器に通信を転送します。
パソコンなどをサーバとして公開したり、ネットワークカメラを利用するときに設定します。
最大で20個まで設定できます。
※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

■ 各設定項目の内容や設定値については、「6-4-2 UPnPの設定（ポートフォワーディング）」（p.146）をご覧ください。

ワンポイント

- ポートフォワーディングでは、指定したIPアドレスにパケットを転送します。指定するネットワーク機器のIPアドレスは、固定に設定してください。

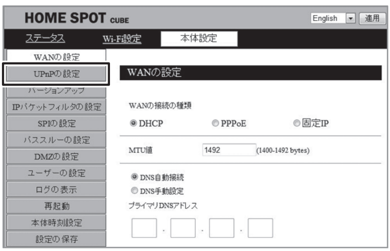
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

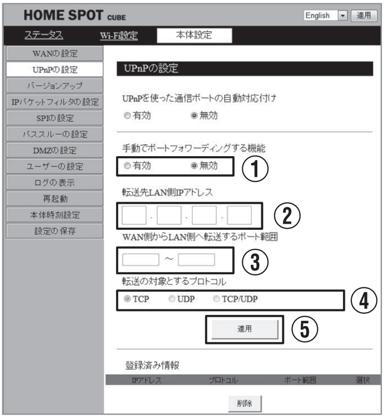


2 「UPnPの設定」を選択する

「UPｎPの設定」画面が表示されます。



3 ポートフォワーディングを使用する



①「手動でポートフォワーディングする機能」を「有効」にする

②「転送先LAN側IPアドレス」に送信したいネットワーク機器のIPアドレスを入力する

③「WAN側からLAN側へ転送するポート範囲」に開放するポート番号を入力する

④「転送の対象とするプロトコル」を、「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」のいずれかから選択する

TCP	：	TCPデータのみ通信を許可／拒否します。
UDP	：	UDPデータのみ通信を許可／拒否します。
TCP/UDP	：	TCPとUDPのデータ両方の通信を許可／拒否します。

⑤［適用］をクリック（タップ）する

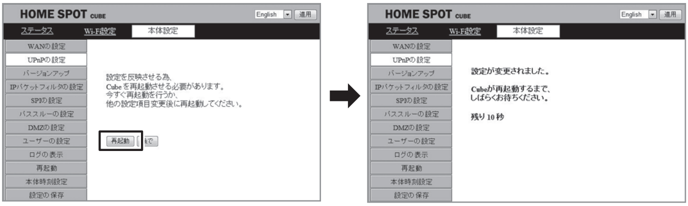
［適用］をクリック（タップ）すると「登録済み情報」に入力したポートフォワーディング情報が登録され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。
- ポートフォワーディング情報を削除したいときは、削除したい情報の横にある［選択］にチェックを入れ、［削除］をクリック（タップ）してください。登録した情報が削除されます。
- ポートフォワーディング情報を更に登録するときは、［適用］をクリック（タップ）した後に［後で］をクリック（タップ）し、手順3を繰り返してください。

使いこなす

5-7-4　DMZを使用する

外部にWebサーバなどを公開するときに、その機器のIPアドレスを設定します。

※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-7 DMZの設定」（p.152）をご覧ください。

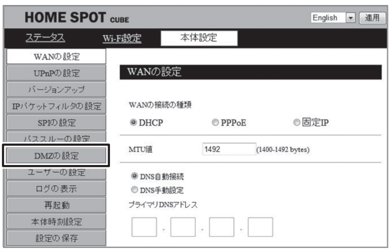
1　「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

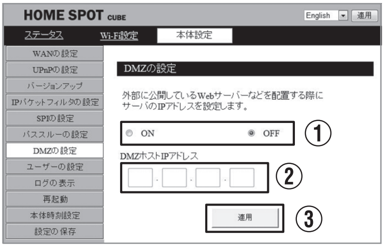


2　「DMZの設定」を選択する

「DMZの設定」画面が表示されます。



3 DMZを使用する



① 「ON」を選択する
DMZが有効になります。

② 「DMZホストIPアドレス」に、DMZ対象とする機器のIPアドレスを入力する
入力したIPアドレスのネットワークをDMZとして使用します。

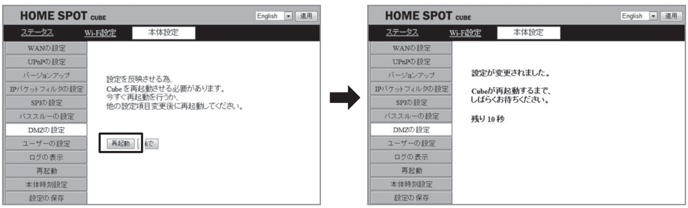
③ [適用] をクリック（タップ）する
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。

4 [再起動] をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-7-5　SPIを使用する

SPI を有効にすると、戻りのパケットに対して送信したパケットの情報を元に整合性の判断を行い、不正なパケットを破棄します。
初期設定は「無効」に設定されています。
※「5-2　動作モードを切り替える」（p.69）をご覧になり、モード切替スイッチを「ROUTER」に変更してください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-5 SPI の設定」（p.150）をご覧ください。

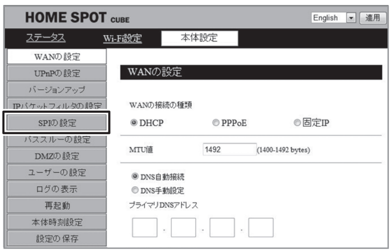
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。

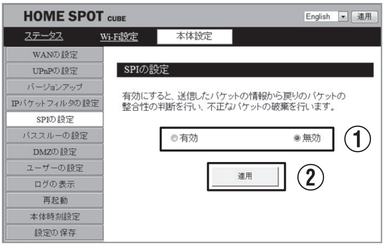


2 「SPIの設定」を選択する

「SPIの設定」画面が表示されます。



3 SPIを使用する



①「有効」を選択する

②［適用］をクリック（タップ）する

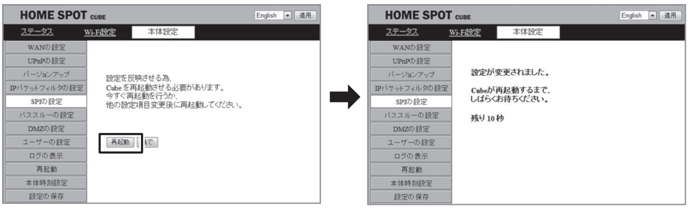
設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。

お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-8 本製品の時刻を変更する

本製品の時刻を設定します。NTPサーバの設定を行うことにより、インターネット接続時にNTPサーバと同期して、正確な時間に設定されます。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-11 本体時刻設定」（p.156）をご覧ください。

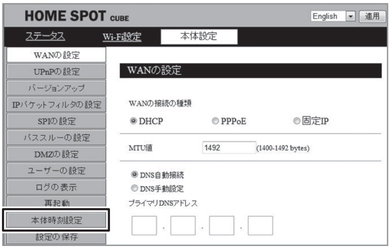
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「本体時刻設定」を選択する

「本体時刻設定」画面が表示されます。



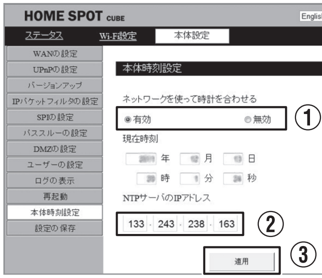
使いこなす

3 本製品の時刻を変更する

■ ネットワークによる自動調整で時刻を変更するには

① 「ネットワークを使って時計を合わせる」で「有効」を選択する

② 「NTP サーバの IP アドレス」にIPアドレスを入力する



ワンポイント

- NTPサーバのIPアドレスには、お客様がお好みの公開 NTP サーバを入力してください。
- あらかじめ、「133.243.238.163」（日本時間）が入力されています。

③ [適用] をクリック（タップ）する

手順**4**へお進みください。

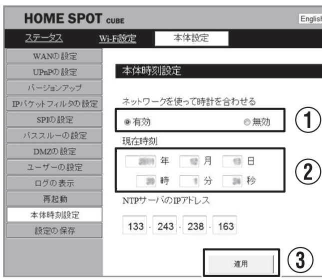
■ 手動で時間を変更するには

① 「ネットワークを使って時計を合わせる」で「無効」を選択する

② 「現在時刻」に現在の時刻を入力する

③ [適用] をクリック（タップ）する

手順**4**へお進みください。

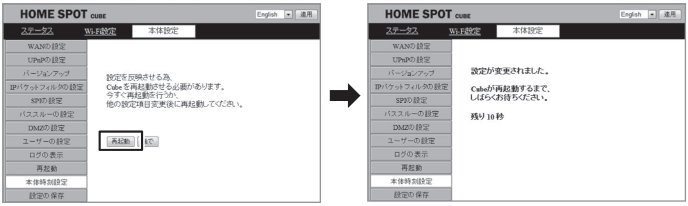


お読みください

- [適用] をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず [適用] をクリック（タップ）してください。

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

5-9 ユーザー名とパスワードを変更する

本製品にログインするユーザー名とパスワードを変更できます。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-8 ユーザーの設定」（p.153）をご覧ください。

ワンポイント

- スマートフォンからログインするときの「名前」と、パソコンからログインするときの「ユーザー名」は同一です。「ユーザー名」を変更すると、どちらにも適用されます。

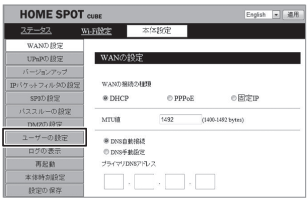
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



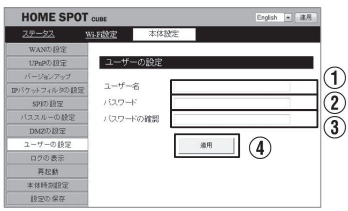
2 「ユーザーの設定」を選択する

「ユーザーの設定」画面が表示されます。



3 ユーザー名とパスワードを変更する

①「ユーザー名」に変更したい名前を入力する



ワンポイント

- ユーザー名は半角英数字で、最大30文字まで設定できます。

②「パスワード」に変更したいパスワードを入力する

ワンポイント

- パスワードは半角英数字で、最大30文字まで設定できます。

③「パスワードの確認」に手順②で入力したパスワードを入力する
④［適用］をクリック（タップ）する

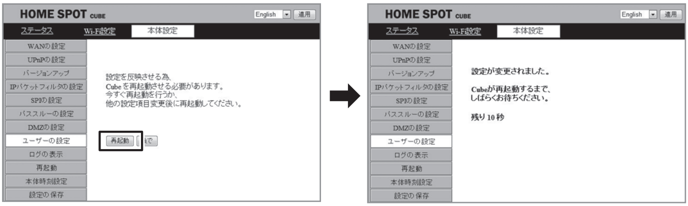
設定が保存され、設定画面のログイン画面が表示されます。

お読みください

- **［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。**

4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動しないで設定を続けるときは、［後で］をクリック（タップ）してください。元の設定画面に戻ります。

お読みください

- **変更したユーザー名とパスワードは忘れないようにメモしてください。万が一、忘れてしまった場合は、本製品を初期化してください。詳しくは、「7-3 本製品を初期化するには」（p.175）をご覧ください。**

使いこなす

5-10 本製品のログを確認する

本製品のログを確認できます。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-9 ログの表示」（p.154）をご覧ください。

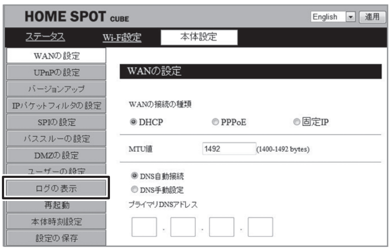
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



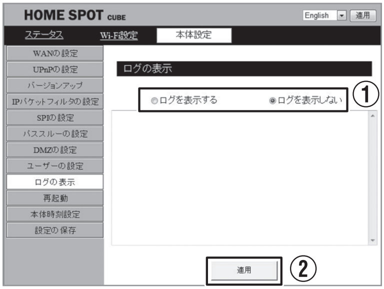
2 「ログの表示」を選択する

「ログの表示」画面が表示されます。



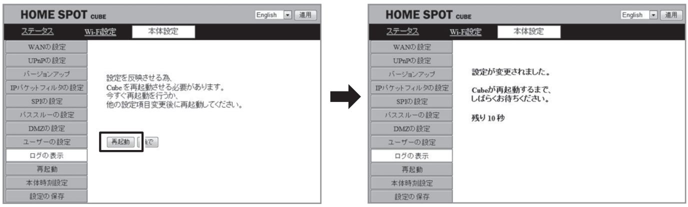
3 「ログを表示する」を選択し、[適用] をクリック（タップ）する

設定が保存され、本製品を再起動するかのメッセージが表示されます。



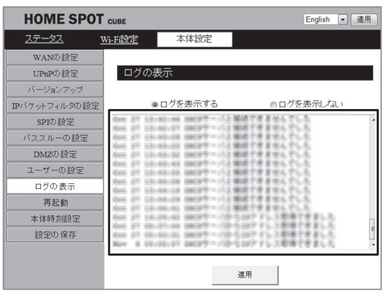
4 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品が再起動し、画面がカウントダウン表示に切り替わります。



ワンポイント

- 再起動後、「ログの表示」をクリックすると、以下のようなログが表示されます。



- ログの表示を非表示に変更したいときは、手順3で「ログを表示しない」を選択して［適用］をクリック（タップ）してください。

5-11 本製品の設定を保存・復元する

本製品の設定情報を保存します。また、保存した設定データを復元します。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-12 設定の保存」（p.157）をご覧ください。

お読みください

- **スマートフォンでログインしたときは、「設定の保存」項目がメニューに表示されません。本製品の設定を保存したいときは、パソコンでログインしてください。**

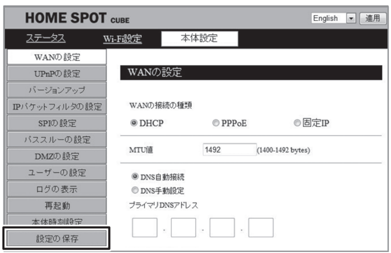
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「設定の保存」を選択する

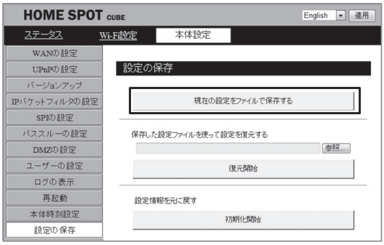
「設定の保存」画面が表示されます。



3 本製品の設定を保存・復元する

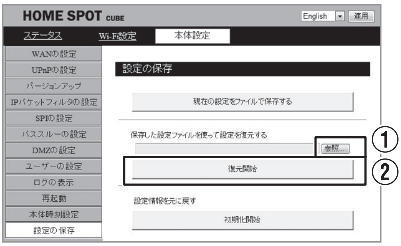
※　お使いのOSによって画面のメッセージが異なります。

■設定を保存するには



① [現在の設定ファイルで保存する] をクリックする
② [保存] をクリックする
③ 保存先を指定し、[保存] をクリックする
データの保存が始まります。保存が完了すると、「ダウンロードの完了」のメッセージ画面が表示されます。
④ [閉じる] をクリックする
「設定の保存画面」に戻ります。

■設定を復元するには



① [参照] をクリックして、復元するファイルを選択する
② [復元開始] をクリックする
設定の復元が始まります。復元が完了すると、「復元に成功しました」のメッセージ画面が表示され、本製品が再起動します。

使いこなす

5-12 本製品のファームウェアをバージョンアップする

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。
- ソフトウェア更新に失敗したときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップにお持ちください。

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-3 バージョンアップ」（p.147）をご覧ください。

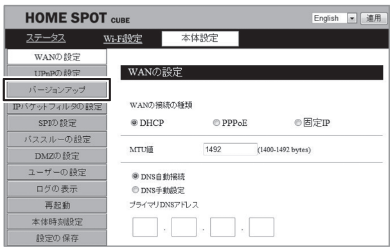
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



2 「バージョンアップ」を選択する

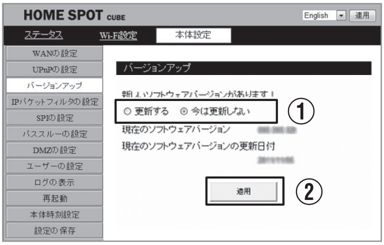
「バージョンアップ」画面が表示されます。



ワンポイント

- 更新されたファームウェアがないときは、「新しいソフトウェアバージョンはありません。」と表示されます。

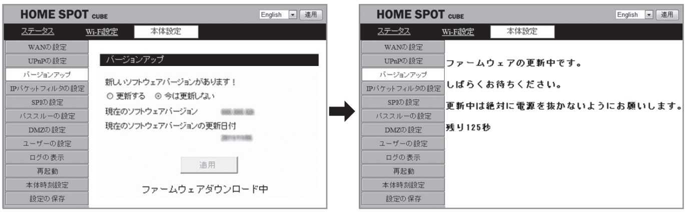
3 ファームウェアをバージョンアップする



①「更新する」を選択する

②［適用］をクリック（タップ）する

ファームウェアのダウンロードを開始します。ダウンロードが完了すると、そのままファームウェアを自動でバージョンアップします。



ファームウェアのバージョンアップ中は、絶対に電源を切らないでください。本製品が使用できなくなるおそれがあります。

ワンポイント

- ファームウェアのバージョンアップを中止したいときは、「今は更新しない」を選択し、［適用］をクリック（タップ）してください。
- ファームウェアのバージョンアップに失敗すると、「ファームウェアの更新に失敗しました」というメッセージが表示されます。そのときは、［戻る］をクリック（タップ）して、再度、手順1から実行してください。

5-13 本製品を再起動する

各設定項目の内容や設定値については、「6-4-10 再起動」（p.155）をご覧ください。

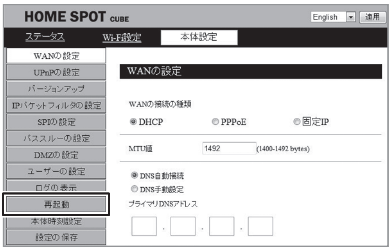
1 「本体設定」を選択する

本製品にログインし、「本体設定」を選択して、「本体設定」画面を表示してください。
画面の表示については、「5-1 設定画面（WebUI）にログインする」（p.64）をご覧ください。



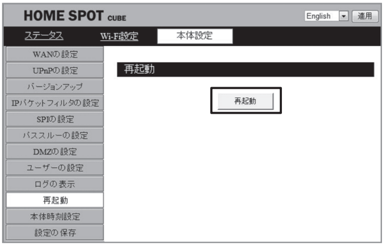
2 「再起動」を選択する

「再起動」画面が表示されます。



3 ［再起動］をクリック（タップ）する

本製品を再起動します。



ワンポイント

- 本製品には電源ボタンがありません。設定画面（WebUI）以外から再起動したいときは、ACアダプタを抜いて電源を切ってから、再度ACアダプタを接続して電源を入れてください。

使いこなす

詳細設定（メニューリスト）

6-1 メニューリスト

トップメニュー名	サイドメニュー名	記載ページ
ステータス		p.131
Wi-Fi設定	Wi-Fi基本設定	p.133
	SSID1の設定	p.135
	SSID2の設定	p.136
	SSID3の設定	p.138
	MACアドレスフィルタリング	p.139
	プライバシーセパレータ	p.140
	隔離設定	p.141
	WPS PINコード	p.142
本体設定	WANの設定（※1）	p.144
	UPnPの設定（※1）	p.146
	バージョンアップ	p.147
	IPパケットフィルタの設定（※1）	p.148
	SPIの設定（※1）	p.150
	パススルーの設定（※1）	p.151
	DMZの設定（※1）	p.152
	ユーザーの設定	p.153
	ログの表示	p.154
	再起動	p.155
	本体時刻設定	p.156
	設定の保存（※2）	p.157

※1　モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。
※2　パソコンからログインしたときに表示されます。

6-2 ステータス

本製品の設定状態が表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
システム情報	時刻	現在の日時が表示されます。
	ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。
	ファームウェア更新日付	ファームウェアの更新日が表示されます。
	動作モード	動作モードが表示されます。
SSID1設定情報	周波数	SSID1で使用している周波数が表示されます。
	無線モード	SSID1で使用している無線モードが表示されます。
	SSID	SSID1のSSID（ネットワーク名）が表示されます。
	無線チャネル	SSID1で使用している無線チャネル番号が表示されます。
	暗号化方式	SSID1で使用している暗号化方式が表示されます。
	接続中の機器数	SSID1に接続している無線機器の数が表示されます。
	BSSID	SSID1のBSSIDが表示されます。
	MACアドレス	SSID1で使用しているMACアドレスが表示されます。
SSID2設定情報	周波数	SSID2で使用している周波数が表示されます。
	無線モード	SSID2で使用している無線モードが表示されます。
	SSID	SSID2のSSID（ネットワーク名）が表示されます。
	無線チャネル	SSID2で使用している無線チャネル番号が表示されます。
	暗号化方式	SSID2で使用している暗号化方式が表示されます。
	接続中の機器数	SSID2に接続している無線機器の数が表示されます。
	BSSID	SSID2のBSSIDが表示されます。
	MACアドレス	SSID2で使用しているMACアドレスが表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
SSID3設定情報	周波数	SSID3で使用している周波数が表示されます。
	無線モード	SSID3 で使用している無線モードが表示されます。
	SSID	SSID3のSSID（ネットワーク名）が表示されます。
	無線チャネル	SSID3 で使用している無線チャネル番号が表示されます。
	暗号化方式	SSID3 で使用している暗号化方式が表示されます。
	接続中の機器数	SSID3 に接続している無線機器の数が表示されます。
	BSSID	SSID3のBSSIDが表示されます。
	MACアドレス	SSID3 で使用している MAC アドレスが表示されます。
WAN設定情報	WAN IP アドレス取得	WANのIPアドレスの取得方法が表示されます。
	WAN IPアドレス	WANのグローバルIPアドレスが表示されます。
	WAN サブネットマスク	WANのサブネットマスクが表示されます。
	WAN デフォルトゲートウェイ	WAN のデフォルトゲートウェイが表示されます。
	WAN MAC アドレス	WANのMACアドレスが表示されます。

6-3 Wi-Fi設定

6-3-1 Wi-Fi基本設定

本製品の無線周波数の設定やチャネル幅など、Wi-Fi の基本設定について設定できます。

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
Wi-Fi基本設定		
2.4 GHz無線		「ON」を選択すると、Wi-Fiを2.4GHzで無線通信します。 「OFF」を選択すると、2.4 GHzの無線通信を無効にします。 初期値：ON
	無線チャネル	無線で使用するチャネル番号を設定します。「Auto」のときは、空いているチャネル番号が自動で割り当てられます。 チャネルを指定するときは、「チャネル指定（1-13ch)」を選択し、チャネル番号を「1」～「13」のいずれかに設定してください。 初期値：Auto
	チャネル幅	数値が大きいほど通信速度が向上します。通常は「40MHz」を選択してください。 初期値：40 MHz
	無線周波数出力	無線電波の出力を設定できます。集合住宅などで、無線電波を遠くに飛ばしたくないときは、小さな数値を選択してください。 「100%」、「70%」、「50%」、「35%」または「15%」のいずれかを選択してください。 初期値：100%

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
Wi-Fi基本設定		
5 GHz無線		「ON」を選択すると、Wi-Fiを5GHzで無線通信します。 「OFF」を選択すると、5 GHzの無線通信を無効にします。 初期値：ON
	無線チャネル	無線で使用するチャネル番号を設定します。「Auto」のときは、空いているチャネル番号が自動で割り当てられます。 チャネルを指定するときは、「チャネル指定（36/40/44/48ch）」を選択し、チャネル番号を「36」、「40」、「44」または「48」のいずれかに設定してください。 初期値：Auto
	チャネル幅	無線のチャネル幅を設定します。「20 MHz」または「40 MHz」のどちらかを選択してください。 初期値：40 MHz
	無線周波数出力	無線電波の出力を設定できます。集合住宅などで、無線電波を遠くに飛ばしたくないときは、小さな数値を選択してください。 「100%」、「70%」、「50%」、「35%」または「15%」のいずれかを選択してください。 初期値：100%

詳細設定

ワンポイント

- ［適用］をクリック（タップ）しないで他の設定画面に移動すると、変更した設定が保存されません。変更した設定を保存したいときは、必ず［適用］をクリック（タップ）してください。
- 本製品のマルチSSID機能では、「Wi-Fi基本設定」で設定した無線チャネルを共通で使用します。

6-3-2　SSID1／SSID2／SSID3の設定

本製品の無線周波数の設定やチャネル幅など、Wi-Fi の基本設定について設定できます。

■ SSID1の設定

設定機能名		設定項目	内容
Wi-Fi設定			
	SSID1の設定	ANY接続	「許可する」を選択すると、SSID1にANY接続を許可します。 「許可しない」を選択すると、SSID1 にANY接続を拒否します。 ※「許可しない」にすると、2.4GHz帯での「WPS接続」は使用できません。 初期値：許可する
		SSID1の文字列	SSID1のネットワーク名が表示されます。 SSID1 の文字列を変更したいときは、変更したい文字列を入力してください。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。
		通信の暗号化方法	Wi-Fi の暗号化方式を設定します。「なし」、「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」のいずれかを選択します。 初期値：WPA2
		通信の暗号化キー（プレシェアード）	「WPA2」、「WPA/WPA2 mixed mode」で使用する暗号化キーを入力します。 暗号化キーは8～63文字の範囲内の半角英数字で設定してください。 また、入力文字は「0」～「9」、「a」～「z」、「A」～「Z」、および下記の記号（※ 1）を組み合わせた文字列で設定してください。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。

※1　! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

詳細設定

■ SSID2の設定

設定機能名		設定項目	内容
Wi-Fi設定			
	SSID2の設定	有効／無効設定	「有効」を選択すると、SSID2を使用できます。「無効」を選択すると、SSID2が使用できなくなります。 初期値：有効
		ANY接続	「許可する」を選択すると、SSID2にANY接続を許可します。 「許可しない」を選択すると、SSID2にANY接続を拒否します。 初期値：許可する
		SSID2の文字列	SSID2のネットワーク名が表示されます。 SSID2の文字列を変更したいときは、変更したい文字列を入力してください。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。
		通信の暗号化方法	Wi-Fiの暗号化方式を設定します。「なし」、「WEP」、「WPA」または「WPA2」のいずれかを選択します。 初期値：WEP
		通信の認証方法	WEP暗号化方式のときに使用する認証方法を設定します。「AUTO」、「OPEN」または「SHARED」のいずれかを選択してください。 「AUTO」のときは、オープンシステム認証とシェアードキー認証を自動で判別し接続します。 「OPEN」のときは、オープンシステム認証で接続します。 「SHARED」のときは、シェアードキー認証で接続します。 初期値：OPEN

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
SSID2の設定	暗号キーの長さ（※1）	認証のときに使用する暗号化キーの長さを設定します。「64bit」、または「128bit」のどちらかを選択してください。 「64bit」のときは、暗号化キーを 10 文字（HEX）または5文字（ASCII）の半角英数字で設定します。 「128bit」のときは、暗号化キーを 26 文字（HEX）または 13 文字（ASCII）の半角英数字で設定します。 初期値：128bit
	暗号キーのフォーマット（※1）	認証のときに使用する暗号化キーのフォーマットを設定します。「ASCII」、または「HEX」のどちらかを選択します。 「ASCII」のときは、暗号化キーを「0」～「9」、「a」～「z」、「A」～「Z」の文字を組み合わせた値で設定します。 「HEX」（16 進数）のときは、暗号化キーを「0」～「9」、「a」～「f」、「A」～「F」の文字を組み合わせた値で設定します。 初期値：ASCII
	通信の暗号化キー（WEP）（※1）	「WEP」で使用する暗号化キーを入力します。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。
	通信の暗号化キー（プレシェアード）（※2）	「WPA」、「WPA2」で使用する暗号化キーを入力します。 暗号化キーは8～63文字の範囲内の半角英数字で設定してください。 また、入力文字は「0」～「9」、「a」～「z」、「A」～「Z」、および下記の記号（※ 3）を組み合わせた文字列で設定してください。

※1　「通信の暗号化方式」で「WEP」を選択したときにのみ項目が表示されます。
※2　「通信の暗号化方式」で「WPA」または「WPA2」を選択したときにのみ項目が表示されます。
※3　! ” # $ % & ’ ( ) ∗ + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

■ SSID3の設定

設定機能名		設定項目	内容
Wi-Fi設定			
	SSID3の設定	有効／無効設定	「有効」を選択すると、SSID3を使用できます。 「無効」を選択すると、SSID3が使用できなくなります。 初期値：有効
		ANY接続	「許可する」を選択すると、SSID3にANY接続を許可します。 「許可しない」を選択すると、SSID3にANY接続を拒否します。 ※「許可しない」にすると、5GHz帯での「WPS接続」は使用できません。 初期値：許可する
		SSID3の文字列	SSID3のネットワーク名が表示されます。 SSID3の文字列を変更したいときは、変更したい文字列を入力します。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。
		通信の暗号化方法	Wi-Fi の暗号化方式を設定します。「なし」、「WPA2」または「WPA/WPA2 mixed mode」のいずれかを選択します。 初期値：WPA2
		通信の暗号化キー（プレシェアード）	「WPA2」、「WPA/WPA2 mixed mode」で使用する暗号化キーを入力します。 暗号化キーは8～63文字の範囲内の半角英数字で設定してください。 また、入力文字は「0」～「9」、「a」～「z」、「A」～「Z」、および下記の記号（※ 1）を組み合わせた文字列で設定してください。 初期値：本製品底面のラベルをご覧ください。

※1　! ” # $ % & ’ ( ) * + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

ワンポイント

- SSIDとは、無線LANにおいてアクセスポイントと無線機器が通信するための共通のグループ名のことです。
- WEPとは、無線LANセキュリティの中で最も弱い暗号化方式で、アクセスポイントとクライアントに共通の暗号化キー（WEPキー）を設定します。
- WPA および WPA2 とは、WEP をより強化した無線 LAN のセキュリティ規格です。WPA/WPA2では、「プレシェアードキー」と呼ばれる暗号化キーを用い、WEP と同様にアクセスポイントとクライアントに共通の暗号化キーを設定します。WPA2 は「AES」が標準化され、WPA よりもさらに強固なセキュリティです。

6-3-3 MACアドレスフィルタリング

MACアドレスを登録した機器のみ本製品へのアクセスを許可し、登録の無い機器はアクセスを禁止します。
最大で32個まで設定できます。
※ 有線LAN接続機器は、フィルタリングの対象外です。

お読みください

- **MACアドレスフィルタを有効にするときは、はじめに本製品に接続している無線LAN機器のMACアドレスを登録してください。**

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
MACアドレスフィルタリング	MACアドレスを利用して通信を許可する機能	「有効」を選択すると MAC アドレスフィルタリングを使用します。 使用しない場合は「無効」を選択してください。 ※「有効」にすると、「WPS接続」は使用できません。 初期値：無効
	通信を許可するMACアドレスの登録	アクセスを許可する機器のMACアドレスを入力します。 ［適用］をクリック（タップ）すると、入力した MAC アドレスが「登録済み通信許可 MAC アドレス」に登録されます。 初期値：空欄
	登録済み通信許可MACアドレス	フィルタリング登録したMACアドレスがリストに表示されます。 リストから削除したいときは、削除したいMACアドレスの「選択」チェックボックスをオンにして、［削除］をクリック（タップ）してください。 初期値：空欄

詳細設定

6-3-4 プライバシーセパレータ

本製品に接続している機器同士のアクセス（共有フォルダなどへのアクセス）を禁止します。

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
プライバシーセパレータ	SSID1	「有効」を選択するとSSID1に接続している無線機器と、本製品に接続している他の機器との通信を禁止します。 プライバシーセパレータを使用しないときは「無効」を選択してください。 初期値：無効
	SSID2	「有効」を選択するとSSID2に接続している無線機器と、本製品に接続している他の機器との通信を禁止します。 プライバシーセパレータを使用しないときは「無効」を選択してください。 初期値：無効
	SSID3	「有効」を選択するとSSID3に接続している無線機器と、本製品に接続している他の機器との通信を禁止します。 プライバシーセパレータを使用しないときは「無効」を選択してください。 初期値：無効

6-3-5　隔離設定

同じSSIDに接続している無線LAN機器とのアクセスと、インターネットの接続を許可し、有線LANや他のSSIDとの通信を禁止します。

※　初期設定では、SSID2のみが隔離されています。

設定機能名		設定項目	内容
Wi-Fi設定			
	隔離設定	SSID1	「有効」を選択すると隔離機能を使用します。SSID1は他のSSIDや有線LANに接続している機器と通信できなくなります。 隔離機能を使用しない場合は、「無効」を選択してください。 初期値：無効
		SSID2	「有効」を選択すると隔離機能を使用します。SSID2は他のSSIDや有線LANに接続している機器と通信できなくなります。 隔離機能を使用しない場合は、「無効」を選択してください。 初期値：有効
		SSID3	「有効」を選択すると隔離機能を使用します。SSID3は他のSSIDや有線LANに接続している機器と通信できなくなります。 隔離機能を使用しない場合は、「無効」を選択してください。 初期値：無効

6-3-6 WPS PINコード

無線LAN機器とPINコード方式でWPS接続します。

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
WPS PINコード		
WPSの有効化（2.4 GHz）		「利用する」が選択されていると、WPS接続が有効になります。 下記のいずれかの設定がされていると、「利用しない」が選択されます。 ● 2.4GHz無線：「OFF」 ● ANY接続：「許可しない」 ● MACアドレスフィルタリング：「有効」
	WPSステータス	WPS機能の状態を表します。 ● Configured：あらかじめ決められた SSID、パスフレーズを使ってWPS接続します。 ● Unconfigured：親機（本製品）と子機（スマートフォンなど）が利用可能な暗号化方式で最もセキュリティの高いものを選択し、新たなパスフレーズを作成してWPS接続します。 Unconfigured状態にしたいときは、[Unconfigured状態に戻す］をクリック（タップ）してください。
	WPSのPINコード	本製品のWPSのPINコードが表示されます。
	接続機器のPINコード	接続機器の「PINコード」を入力します。 初期値：空欄
	WPSの開始	［WPSの開始］をクリック（タップ）すると、PINコード方式のWPS接続を開始します。

詳細設定

設定機能名	設定項目	内容
Wi-Fi設定		
WPS PINコード		
WPSの有効化（5 GHz）		「利用する」が選択されていると、WPS接続が有効になります。 下記のいずれかの設定がされていると、「利用しない」が選択されます。 ● 5GHz無線：「OFF」 ● ANY接続：「許可しない」 ● MACアドレスフィルタリング：「有効」
	WPS ステータス	WPS機能の状態を表します。 ● Configured：あらかじめ決められた SSID、パスフレーズを使ってWPS接続します。 ● Unconfigured：親機（本製品）と子機（スマートフォンなど）が利用可能な暗号化方式で最もセキュリティの高いものを選択し、新たなパスフレーズを作成してWPS接続します。 Unconfigured状態にしたいときは、[Unconfigured状態に戻す］をクリック（タップ）してください。
	WPSの PINコード	本製品のWPSのPINコードが表示されます。
	接続機器の PINコード	接続機器の「PINコード」を入力します。 初期値：空欄
	WPSの開始	［WPSの開始］をクリック（タップ）すると、PINコード方式のWPS接続を開始します。

6-4 本体設定

6-4-1　WANの設定

インターネットの接続など、WANについて設定できます。
※　モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	WANの設定	WANの接続の種類	選択したWANの種類で動作します。 「DHCP」、「PPPoE」または「固定 IP」のいずれかを選択します。 初期値：DHCP
		PPPoEの種類（※1）	PPPoEの接続数を設定します。 「マルチPPPoE」を選択すると、PPPoEマルチセッション接続が可能になります。 初期値：１か所だけ接続
		マルチ PPPoE 接続先（※2）	マルチPPPoEの接続先を設定します。 初期値：ネクスト東日本
		ユーザ名（※1）	PPPoEプロバイダ指定のユーザ名を入力します。 初期値：空欄
		パスワード（※1）	PPPoEプロバイダ指定のパスワードを入力します。 初期値：空欄
		IPアドレス（※3）	プロバイダや上位のルータから割り当てられた固定のIPアドレスを入力します。 初期値：172.1.1.1
		優先サブネットマスク（※3）	プロバイダや上位のルータから割り当てられたサブネットマスクを入力します。 初期値：255.255.255.0
		デフォルトゲートウェイ（※3）	プロバイダや上位のルータから割り当てられた固定のIPアドレスを入力します。 初期値：172.1.1.254

詳細設定

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	WANの設定	MTU値	MTU値（最大転送可能データサイズ）を設定します。 初期値：1454（※1） 初期値：1500（※3） 初期値：1492（※4）
		接続タイプ （※1）	PPPoEの接続タイプを設定します。 「常時接続」または「手動接続」のどちらかを選択します。 初期値：常時接続
		DNS自動接続	DNSを自動で取得します。 初期値：オン
		DNS手動設定	DNSを手動で設定します。 初期値：オフ
		プライマリ DNSアドレス	プロバイダ指定のプライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		セカンダリ DNSアドレス	プロバイダ指定のセカンダリDNSサーバのIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		WAN MACアドレスの設定	インターネットに接続するパソコンを特定する場合に、そのパソコンのMACアドレスを設定します。 初期値：00:00:00:00:00:00

※1 「WANの接続の種類」で「PPPoE」を選択したときにのみ項目が表示されます。
※2 「PPPoEの種類」で「マルチPPPoE」を選択したときにのみ項目が表示されます。
※3 「WANの接続の種類」で「固定IP」を選択したときにのみ項目が表示されます。
※4 「WANの接続の種類」で「DHCP」を選択したときのみ。

ワンポイント

- MTU値は「WANの接続の種類」の設定によって設定できる範囲が異なります。

「PPPoE」： 1360～1492bytes
「DHCP」： 1400～1492bytes
「固定IP」： 1400～1500bytes

6-4-2 UPnPの設定（ポートフォワーディング）

UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能とポートフォワーディング機能の設定ができます。
ポートフォワーディングは、最大で20個まで登録できます。
※ モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	UPnPの設定	UPnPを使った通信ポートの自動対応付け	「有効」を選択すると、ネットワーク上にある様々な機器を接続しただけで、お使いのネットワークに参加することができます。 初期値：無効
	ポートフォワーディングの設定	手動でポートフォワーディングする機能	「有効」を選択すると、特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあったときに、本製品のLAN側にある機器に通信を転送します。 初期値：無効
		転送先LAN側IPアドレス	ポートフォワーディングしたい機器のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
		WAN側からLAN側へ転送するポート範囲	ポートフォワーディングしたいポートの範囲を入力します。 初期値：空欄
		転送の対象とするプロトコル	「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」のいずれかから選択します。 初期値：TCP
		登録済み情報	登録したポートフォワーディング情報がリストに表示されます。 リストから削除したいときは、削除したい情報の「選択」チェックボックスをオンにして、[削除] をクリック（タップ）してください。

6-4-3 バージョンアップ

本製品のソフトウェアをバージョンアップできます。新しいソフトウェアがあるときは、ソフトウェアをバージョンアップすることをおすすめします。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
バージョンアップ	-	新しいバージョンがあるときは、「更新する」を選択して、[適用] をクリック（タップ）し、バージョンアップを実行します。

ワンポイント

- 新しいバージョンのソフトウェアが見つからないときは、「新しいソフトウェアバージョンはありません。」というメッセージが表示されます。

ファームウェアのバージョンアップ中は、絶対に電源を切らないでください。本製品が使用できなくなるおそれがあります。

詳細設定

6-4-4 IPパケットフィルタの設定

宛先/送信元IPアドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークができます。IPパケットフィルタは、フィルタを適用する通信インタフェースの「WAN」側と「LAN」側、それぞれ最大で20個まで設定できます。

※ モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
IPパケットフィルタの設定	IPパケットフィルタ機能の有効化	「有効」を選択するとIPパケットフィルタ機能を使用します。使用しない場合は「無効」を選択してください。 初期値：無効
	IPパケットフィルタの種別	「許可」を選択すると、フィルタ条件に一致したパケット情報を許可します。 「拒否」を選択すると、フィルタ条件に一致したパケット情報を拒否します。 初期値：許可
	フィルタを適用する通信インタフェース	IPパケットフィルタを適用するインタフェースを選択します。 初期値：WAN
	送信元IPアドレス	フィルタ対象とする送信元のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
	宛先IPアドレス	フィルタ対象とする宛先のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄
	通信の許可／拒否の対象とするプロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルを設定します。「TCP」、「UDP」または「TCP/UDP」のいずれかを選択してください。 初期値：TCP
	送信元ポート番号の範囲の登録	フィルタ対象とする送信元のポート番号の範囲を入力します。 初期値：空欄
	宛先ポート番号の範囲の登録	フィルタ対象とする宛先のポート番号の範囲を入力します。 初期値：空欄

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
IPパケットフィルタの設定	通信の方向	選択したインタフェースでのパケット通信の方向を選択します。「IN（宛先→送信元）」、「OUT（送信元→宛先）」または「IN/OUT（両方）」のいずれかを選択してください。 初期値：IN
	登録済みの IP パケットフィルタリスト	登録したIPパケットフィルタ情報がリストに表示されます。リストから削除したいときは、削除したい情報の「選択」チェックボックスをオンにして、［削除］をクリック（タップ）してください。
	フィルタを適用する通信インタフェース	登録済みのIPパケットフィルタリストで適用するインタフェースを選択します。 「WAN」または「LAN」のどちらかを選び、［選択］をクリック（タップ）してください。 初期値：WAN

6-4-5 SPIの設定

SPI を有効にすると、戻りのパケットに対して送信したパケットの情報を元に整合性の判断を行い、不正なパケットを破棄します。

※ モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
SPIの設定	-	「有効」を選択すると、SPIを有効にします。 SPI を使用しないときは、「無効」を選択してください。 初期値：無効

6-4-6　パススルーの設定

プロトコルやIPアドレスの変換を行わずに、パケットを通過させることができます。

※　モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	パススルーの設定	IPv6パススルー	IPv6 プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 パススルー機能を使用して、IPv6による通信を行うことができます。 初期値：有効
		IPsecパススルー	VPN 接続を使用する場合に、インターネットを経由して LAN 側の IPsec/PPTP クライアントから WAN 側の IPsec/PPTP サーバにアクセスすることを可能にします。 また、WAN 側の IPsec/PPTP クライアントから LAN 側の IPsec/PPTP サーバにアクセスするように設定することも可能です。 初期値：有効
		PPTPパススルー	
		PPPoEパススルー	PPPoEブリッジ機能を有効にすると直接グローバル IP アドレスを取得することができ、特定のアプリケーションを利用することができます。 初期値：有効

6-4-7 DMZの設定

外部にWebサーバなどを公開するときに、その機器のIPアドレスを設定します。
※ モード切替スイッチが「ROUTER」に設定されているときに表示されます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
DMZの設定		「ON」を選択すると、DMZを有効にします。 初期値：OFF
	DMZホストIPアドレス	DMZ対象とする機器のIPアドレスを入力します。 初期値：空欄

ワンポイント

- DMZの設定で、「OFF」を選択し、［適用］をクリック（タップ）すると、「DMZホストIPアドレス」が空欄になります。

6-4-8 ユーザーの設定

本製品の設定画面（WebUI）にログインするユーザー名とパスワードが設定できます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	ユーザーの設定	ユーザー名	本製品にログインするときに使用するユーザー名を入力します。 初期値：空欄
		パスワード	本製品にログインするときに使用するパスワードを入力します。 初期値：空欄
		パスワードの確認	「パスワード」で入力した文字列と同じ英数字を入力します。 ［設定］をクリック（タップ）すると、ユーザー名とパスワードが設定されます。 初期値：空欄

6-4-9　ログの表示

本製品のログを確認できます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	ログの表示	-	「ログを表示する」を選択して［適用］をクリック（タップ）すると、本製品のログが表示されます。 初期値：ログを表示しない

詳細設定

6-4-10　再起動

本製品を再起動できます。

設定機能名		設定項目	内容
本体設定			
	再起動	-	［再起動］をクリック（タップ）すると、本製品が再起動します。

再起動の手順について、詳しくは「5-13 本製品を再起動する」（p.127）をご覧ください。

ワンポイント

- 設定画面（WebUI）以外から再起動したいときは、ACアダプタを抜いて電源を切ってから、再度ACアダプタを接続して電源を入れてください。

6-4-11　本体時刻設定

本製品の時刻について設定できます。

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
本体時刻設定	ネットワークを使って時計を合わせる	「有効」を選択すると、「NTPサーバのIPアドレス」で設定されているNTPサーバを利用して本製品の時計が自動調整されます。 「無効」を選択すると自動調整を行いません。手動で時刻を設定したいときに、選択してください。 初期値：有効
	現在時刻	本製品の現在時刻が表示されます。手動で時間を調節するときは、現在の時刻を入力し、［適用］をクリック（タップ）してください。
	NTP サーバの IP アドレス	ネットワークを利用した時間の自動調整（NTP）を使用するときに使う、「NTPサーバのIPアドレス」を入力します。 初期値：133.243.238.163

6-4-12　設定の保存

本製品の設定情報を保存します。また、保存した設定データを復元します。

お読みください

- **スマートフォンでログインしたときは、「設定の保存」項目がメニューに表示されません。本製品の設定を保存したいときは、パソコンでログインしてください。**

設定機能名	設定項目	内容
本体設定		
設定の保存	現在の設定をファイルで保存する	［現在の設定をファイルで保存する］をクリックすると、保存先を指定して本製品の設定情報を保存します。
	保存した設定ファイルを使って設定を復元する	［参照］をクリックし、復元に使用する設定ファイルを指定してください。［復元開始］をクリックすると、指定したファイルの設定情報を本製品に復元します。
	設定情報を元に戻す	［初期化開始］をクリックすると、本製品の設定情報を初期設定に戻します。（設定が初期化されます。）

故障とお考えになる前に

7-1 パソコンの設定について

お使いのパソコンの IP アドレスが DHCP サーバから自動取得になっていないときに、本製品にネットワーク接続できないことがあります。そのときは、お使いのOSに合わせて、IPアドレスを自動取得に変更してください。

■ Windows 7をお使いのとき

☞「7-1-1 Windows 7編」（p.161）へお進みください

■ Windows XPをお使いのとき

☞「7-1-2 Windows XP編」（p.165）へお進みください

■ MAC OS Xをお使いのとき

☞「7-1-3 Mac OS X編」（p.169）へお進みください

7-1-1　Windows 7編

お読みください

- この作業を行うには管理者権限を持つユーザーでログオンする必要があります。
  以下の操作手順および表示画面はWindows 7の初期状態の場合です。
  Windows 7の設定によっては異なる場合があります。

1 画面左下の「スタート」をクリックする

2 「コントロールパネル」をクリックする

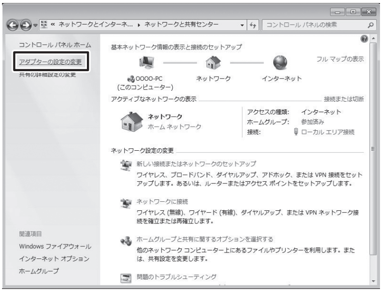
3 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする

※　アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



故障とお考えになる前に

4 「アダプターの設定の変更」をクリックする

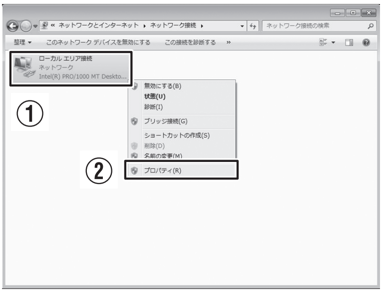


5 ローカルエリア接続を右クリックして「プロパティ」をクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面が表示されます。

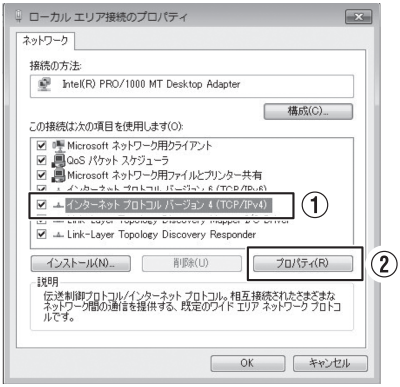
※　無線LAN側のIPアドレスを自動取得に設定するときは、「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックして、[プロパティ]をクリックしてください。

※　「ユーザーアカウント制御」が有効になっている場合は、確認画面が表示されます。そのときは、「はい」をクリックしてください。

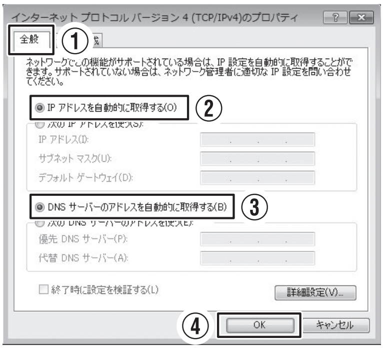


6 「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4)」を選択して、[プロパティ] をクリックする

「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4）のプロパティ」の画面が表示されます。



7 「インターネット プロトコル バージョン4（TCP/IPv4)」を設定する

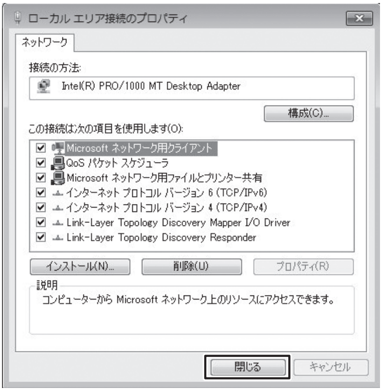


① 「全般」タブをクリックする
② 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択する
③ 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択する
④ [OK] をクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻ります。

8 ［閉じる］をクリックする

パソコンの設定が完了します。



これでパソコンの設定が終わりました。再度「第４章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」（p.45）を実行してください。

7-1-2 Windows XP編

お読みください

- この作業を行うには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。
  以下の操作手順および表示画面はWindows XPの初期状態の場合です。
  Windows XPの設定によっては異なる場合があります。

1 画面左下の「スタート」をクリックする

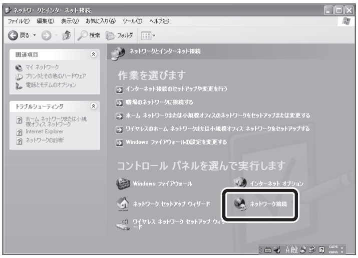
2 「コンピュータパネル」をクリックする

3 「ネットワークとインターネット接続」をクリックする

※ クラシック表示のときは、手順**3**をとばして手順**4**へ進んでください。



4 「ネットワーク接続」をクリックする



※　カテゴリ表示の場合

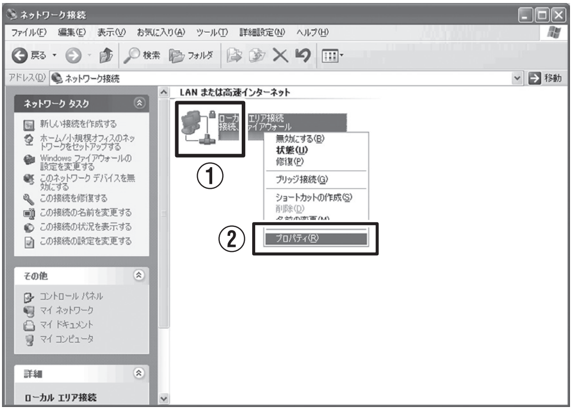


※　クラシック表示の場合

5 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」をクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面が表示されます。

※　無線LAN側のIPアドレスを自動取得に設定するときは、「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックして、[プロパティ]をクリックしてください。



6 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、［プロパティ］をクリックする

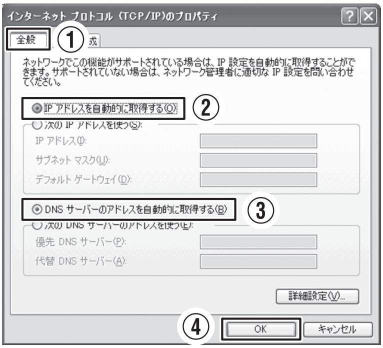
「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。



7 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を設定する

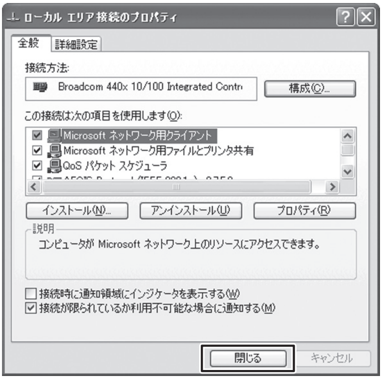
①「全般」タブをクリックする
②「IPアドレスを自動的に取得する」を選択する
③「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択する
④［OK］をクリックする

「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面に戻ります。



8 ［閉じる］をクリックする

パソコンの設定が完了します。



これでパソコンの設定が終わりました。再度「第４章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」（p.45）を実行してください。

7-1-3 Mac OS X編

お読みください

● 本書で使用している画面は Mac OS X 10.5 の画面です。表示される画面は Mac OS のバージョンによって異なります。

1 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックする

「システム環境設定」の画面が表示されます。



ワンポイント

● 画面下のDock内の「システム環境設定」アイコンをクリックしても、「システム環境設定」の画面が表示されます。

2 「インターネットとネットワーク」の「ネットワーク」アイコンをクリックする

「ネットワーク」の画面が表示されます。



お読みください

- 「システム環境設定」に「ネットワーク」アイコンが表示されないときは、「すべてを表示」アイコンをクリックします。

3 左側のリストから「Ethernet」をクリックする

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」が表示されます。

※ Mac OS X 10.4のときは、「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択します。

※ 無線LAN側のIPアドレスを自動取得に設定するときは、左側のリストから「AirMac」をクリックしてください。（Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「AirMac」を選択します）

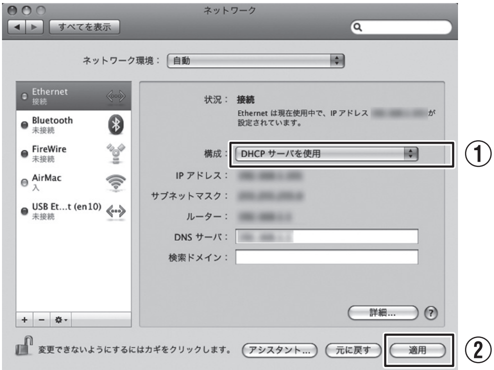


4 IPアドレスの取得設定を変更する

①「構成」から「DHCPサーバを使用」を選択する

②［適用］をクリックする

※ Mac OS X 10.4 のときは、「TCP/IP」タブの「IPv4 を設定」欄から「DHCPサーバを参照」を選択し、［今すぐ適用］をクリックします。



これでパソコンの設定が終わりました。再度「第4章 他のスマートフォンやパソコンを接続する」（p.45）を実行してください。

7-2 トラブルシューティング

症状	原因	解決方法	参照ページ
すべてのランプが点灯しない	AC アダプタが正しく接続されていない	AC アダプタが正しく接続されているかをご確認ください。	p.36
	同梱品以外の AC アダプタを使用している	本製品に付属の AC アダプタをお使いください。	p.5
	延長コードやタップを多く使用している	延長コードやタップを使わないで、再度ご確認ください。	-
	動作不良を起こしている	いったんACアダプタをコンセントから抜き、しばらく経ってから再度電源を入れてください。	-
	本製品が故障している	本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、修理を依頼してください。	p.183
無線接続ができない	本製品と無線機器との距離が離れすぎている	本製品に無線機器を近づけて、再度ご確認ください。	-
	本製品と無線機器との間に障害物がある	障害物がない状態で、再度ご確認ください。	-
	電子レンジの近くで無線接続している	電子レンジから離れた場所で、再度ご確認ください。	-
	Wi-Fi の使用が無効になっている	本製品にログインし、設定を有効に変更して、再度ご確認ください。	p.133
	本製品に接続している機器の IP アドレスが「自動取得」になっていない	お使いの機器のIPアドレスを「自動取得」に設定して、再度ご確認ください。	p.160
	本製品と無線機器で異なるSSIDの設定になっている	本製品とお使いの機器で、SSID（ネットワーク名）および暗号化方式を同一にして、再度ご確認ください。	p.135
	本製品と無線機器で異なるチャネル番号になっている	本製品とお使いの機器で、無線周波数の周波数帯とチャネル番号を同一にして、再度ご確認ください。	p.133
	上記以外のとき	本製品を初期化し、再度実行してください。（初期化の前に、設定をバックアップすることをおすすめします。）	p.175 (p.123)

症状	原因	解決方法	参照ページ
インターネットに接続できない	モード切替スイッチで動作モードを変更したり、ネットワークの設定を変更した	モード切替スイッチで動作モードを変更したり、設定を変えた後は、しばらくインターネットに接続できないことがあります。そのときは2～3分ほど待ち、再度ご確認ください。	-
	本製品に接続している機器の IP アドレスが「自動取得」になっていない	お使いの機器のIPアドレスを「自動取得」に設定して、再度ご確認ください。	p.160
	ネットワーク変更後も古い IP アドレスの情報を持つネットワーク機器がある	すべての機器の電源を切って、30 分ほどそのままの状態にして、再度ご確認ください。 （通電状態で IP アドレスが保持される場合があるので、機器の電源をすべて切ってください。）	-
	接続したサイトにトラブルがある	別のホームページが表示されないかをご確認ください。	-
	上記以外のとき	本製品を初期化し、再度実行してください。（初期化の前に、設定をバックアップすることをおすすめします。）	p.175 （p.123）
設定画面を表示できない	本製品に接続している機器の IP アドレスが「自動取得」になっていない	お使いの機器のIPアドレスを「自動取得」に設定して、再度ご確認ください。	p.160
	WEBブラウザにプロキシサーバの設定をしている	プロキシサーバを使用しないで、再度ご確認ください。	-
	セキュリティソフトウェア（ウイルスチェック、ファイアウォールなど）を使用している	本製品のIPアドレス「192.168.0.254」を、「信頼済みサイト」や「例外サイト」に登録して再度ご確認ください。	-

症状	原因	解決方法	参照ページ
本製品のステータス（STATUS）ランプが緑点灯していない	本製品のファームウェアを更新中 （ステータス（STATUS）ランプが橙点灯）	ファームウェアの更新中は、IPアドレスが取得できません。ファームウェアの更新後に、再度ご確認ください。	-
	本製品のIPアドレスが取得できない （ステータス（STATUS）ランプが橙点滅）	「2-3 本製品と利用する通信機器を接続する」をご覧いただき、機器やケーブルが正しい場所に接続されていることを確認してください。	p.34
		モード切替スイッチがネットワークと合っていない可能性があります。モード切替スイッチを「AUTO」にして、再度ご確認ください。	p.34 p.69
		上記以外のときは、本製品にプロバイダの情報を登録する必要があります。「5-3-2 PPPoE接続に変更する」または「5-3-4 マルチPPPoE接続に変更する」をご覧いただき、設定してください。	p.73 p.78
	本製品が起動中 （ステータス（STATUS）ランプが緑点滅）	本製品が起動中です。しばらくお待ちになり、再度ご確認ください。	-
	WAN リンク情報が取得できない （ステータス（STATUS）ランプが赤点灯）	モデム / ルータ /ONU の電源が入っていない可能性があります。電源が入ってるかをご確認ください。	-
		モデム / ルータ /ONU と本製品をつないでいる LAN ケーブルの不具合の可能性があります。別の LAN ケーブルで接続し、再度ご確認ください。	-
	本製品が起動しない （ステータス（STATUS）ランプが赤点滅）	本製品の不具合の可能性がありますので、付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、修理を依頼してください。	p.183
	本製品の電源が入らない （ステータス（STATUS）ランプが消灯）	AC アダプタが正しく接続されているかをご確認ください。	p.36
		上記以外のときは、本製品の不具合の可能性があります。付属の「保証書」に記載の内容を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、修理を依頼してください。	p.183

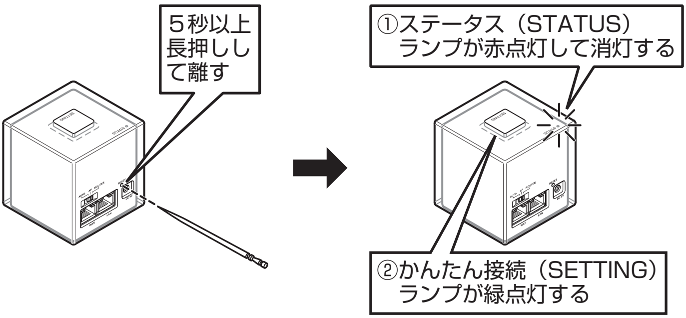
7-3 本製品を初期化するには

ワンポイント

- 初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。設定情報を保存したいときは、「5-11 本製品の設定を保存・復元する」（p.123）をご覧ください。
- 本製品の設定画面（WebUI）から初期化することもできます。詳しくは、「「6-4-12 設定の保存」（p.157）をご覧ください。

1 本製品背面の初期化（RESET）ボタンを５秒以上長押しして離す

初期化（RESET）ボタンをつまようじのような先の細いもので、５秒以上長押しして、離してください。ステータス（STATUS）ランプが赤点灯してから消灯し、その後、かんたん接続（SETTING）ランプが緑点灯します。



2 本製品が再起動することを確認する

故障とお考えになる前に

付録

8-1 製品仕様

8-1-1　仕様項目一覧

製品本体

型番	PXH11
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11b IEEE802.11g IEEE802.11gおよびIEEE802.11nテクノロジー（ただしMIMO機能のみを除く） IEEE802.11a IEEE802.11aおよびIEEE802.11nテクノロジー（ただしMIMO機能のみを除く）
周波数帯域チャネル	[W52] 5.2GHz帯(5,180～5,240MHz)：36/40/44/48ch [W53] 5.3GHz帯(5,260～5,320MHz)：52/56/60/64ch [W56] 5.6GHz帯（5,500～5,700MHz)：100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch 2.4GHz帯（2,412～2,472MHz)：1～13ch
伝送速度	IEEE802.11n :最大150Mbps IEEE802.11a :54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps IEEE802.11g :54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps IEEE802.11b :11, 5.5, 2, 1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n :直交波周波数分割多重変調（OFDM方式） IEEE802.11a :直交波周波数分割多重変調（OFDM方式） IEEE802.11g :直交波周波数分割多重変調（OFDM方式） IEEE802.11b :直接拡散型スペクトラム拡散（DSSS方式）
アンテナ	内蔵アンテナ2本（2.4GHz：1T1R、5GHz：1T1R）
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	かんたん接続、WPS
セキュリティ	暗号設定なし WEP 64bit、WEP 128bit WPA-PSK（AES） WPA2-PSK（AES）

有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3i（10BASE-T）
インターフェース	RJ-45ポート×2（WAN×1、LAN×1）
伝送速度	100/10Mbps（MDI/MDIX、オートネゴシエーション）
ネットワークケーブル	100BASE-TX :カテゴリ5以上 10BASE-T :カテゴリ3以上
ソフトウェア仕様	
動作モード	「オートモード（AUTO）」、「アクセスポイントモード（AP）」および「ルータモード（ROUTER）」
対応プロトコル	TCP/IP（IPv4）
インターネット接続方法	DHCP、PPPoE認証（2セッション）、固定IPアドレス
WAN回線自動判別	WAN回線自動判別機能搭載
WAN設定	IPアドレス自動取得（DHCPクライアント） 固定IPアドレス（手動設定） PPPoEクライアント設定 PPPoEマルチセッション（最大2セッション）
LAN設定	DHCPサーバ
無線利用方式	IEEE802.11n/aと11n/g/bは同時利用可能
アドレス変換	NAPT
DMZ	対応可能
フィルタ機能	MACフィルタ、IPv4パケットフィルタ
IPv6関連	IPv6ブリッジ機能（IPv6パススルー）
VPN関連	IPsecパススルー、PPTPパススルー
省エネ設定	EEE
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	かんたん接続（SETTING）ボタン、初期化（RESET）ボタン、モード切替スイッチ（AUTO/AP/ROUTER）
消費電力	最大3.4W
電源	DC5V 1A
外形寸法	約68（W）×72（H）×68（D）mm ※底面シリコンゴム足を含む
質量	約199g
動作時環境	温度：0～40℃ 湿度：20～85%（結露しないこと）
保存時環境	温度：-20～60℃ 湿度：5～90%（結露しないこと）

その他	
ログ機能	サービスログ
設定画面（WebUI）に対応した OS およびブラウザ	● Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP Microsoft Internet Explorer 9、Firefox 8、Safari 5.1、Chrome 15 ● Android 2.3/3.2 Androidの標準ブラウザ

注意事項

※ ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。
※ WPA/WPA2を利用するためには、接続するWi-Fi機器もWPAまたはWPA2に対応している必要があります。
※ WPSを利用するためには、接続するWi-Fi機器もWPSに対応している必要があります。
※ 表示の数値は、Wi-Fi規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※ IEEE802.11a W52/W53の屋外での利用は禁じられています。

ACアダプタ

外形寸法	約40（W）× 59（H）× 26.4（D）mm ※突起部を除く
質量	約55ｇ
定格電圧	入力：AC 100 V（50Hz/60Hz）12VA 出力：DC 5 V 1 A
保証動作環境	温度：0℃～40℃ 湿度：20%～85%（結露しないこと）
保証保存環境	温度：-20℃～60℃ 湿度：5%～90%（結露しないこと）

8-1-2 ランプの表示

ランプの位置および名称については、「1-3 各部の名称とはたらき」（p.6）をご覧ください。

名称	点灯状況	動作状況
ステータス（STATUS）ランプ	緑点灯	IPアドレス取得OK
	橙点灯	ファームウェア更新中
	橙点滅	IPアドレス未取得
	緑点滅	起動中
	赤点灯	WANリンクダウン または 故障している
	赤点滅	エラー
	消灯	電源が入ってない または 故障している
かんたん接続（SETTING）ランプ	緑点灯	起動中 または かんたん接続／WPS接続の設定完了
	赤点滅（速）	かんたん接続／WPS接続の試行エラー
	赤点滅（遅）	複数機器の同時設定試行エラー
	橙点滅	かんたん接続／WPS接続の試行中
LINKランプ	緑点灯	LANケーブル接続中
	消灯	LANケーブル未接続
ACTIVEランプ	橙点灯	データ送受信なし
	橙点滅	データ送受信中
	消灯	LANケーブル未接続

8-1-3 初期設定

お買い上げ時は、本製品の無線LANセキュリティが初期設定されています。本製品に接続する無線LAN機器を設定するときには、次の表で初期設定をご確認いただき、機器を設定してください。

	SSID1	SSID2	SSID3
初期SSID	本製品底面のラベルをご覧ください。		
通信の暗号化キー（初期パスワード）			
無線周波数	2.4 GHz	2.4 GHz	5 GHz
ネットワーク認証方式	WPA2-PSK	WEP(OPEN)	WPA2-PSK
暗号キーの長さ	-	128 bit	-
暗号キーのフォーマット	パスフレーズ	ASCII	パスフレーズ
暗号化方式	AES	-	AES
隔離機能	無効	有効	無効

8-2 アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については au ショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社の無償修理規定に基づき、修理いたします。

ワンポイント

- 当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター

一般電話からは　　フリーコール 0077－7－111（通話料無料）
au電話からは　　局番なしの157（通話料無料）

年中無休　※オペレータ対応は9:00～20:00

付録

8-3 知的財産権について

8-3-1　商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
- Microsoft、Windows® 7、Windows® XP、Windows® VistaおよびInternet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、AppleおよびSafariは、米国Apple Computer,Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- AndroidおよびChromeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneはApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Firefoxは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi® CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証ロゴマークです。
- Wi-Fi® Protected Setup（WPS）は、Wi-Fi Allianceの商標です。
- サービス情報サイト（旧フレッツ・スクウェア）、フレッツおよびネクストは、株式会社NTTデータの商標または登録商標です。

付録

8-3-2　Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

8-4 輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

8-5 GPLについて

【著作権情報】

本製品は、GNU General Public License(Version 2)、GNU Library General Public License(Version 2) が適用された下記のフリーソフトウェアを使用しています。
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.0.html

Linux Kernel (version 2.6.30)	Copyright© The Kernel.Org Organization. Inc. http://www.kernel.org
BusyBox (ver. 1.13.1)	Copyright© 1998-2008 Erik Andersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. http://busybox.net
dnrd (ver. 2.12.1)	Copyright© 1998 Brad M. Garcia http://dnrd.sourceforge.net/
Dnsmasq (ver. 2.33)	Copyright© 2000-2006 Simon Kelley http://www.thekelleys.org.uk/dnsmasq/doc.html
igmpproxy (ver 1.2)	Copyright© 1999-2009 - Geeknet, Inc., All Rights Reserved http://igmpproxy.sourceforge.net/
iproute2 (ver. 2.6.29-1)	Copyright© Linux Foundation. All rights reserved. http://www.linuxfoundation.org/collaborate/workgroups/networking/iproute2
iptables (ver. 1.4.4)	Copyright© netfilter project http://www.netfilter.org/
l2tpd (version 0.69)	Copyright© L2TPD Project http://l2tpd.sourceforge.net/
mini_upnp (ver 1.0)	Copyright© MiniUPnP Project http://miniupnp.free.fr/
miniigd (v 1.19)	Copyright© 2006, Thomas BERNARD All rights reserved.
Ntpclient (version 2000 345)	Copyright© 1997, 1999, 2000, 2003, 2006, 2007, 2010 Larry Doolittle http://doolittle.icarus.com/ntpclient/
pptp (ver. 1.7.2)	Copyright© 2000 Free Software Foundation http://pptpclient.sourceforge.net/

rp-pppoe (ver. 3.8)	Copyright© Roading Penguin Software Inc http://www.roaringpenguin.com/products/pppoe
udhcp (ver. 0.9.9-pre)	Copyright© Russ Dill, Matthew Ramsay, Chris Trew http://git.uclibc.org/udhcp/
updatedd (ver. 2.5)	Copyright© 2002, 2003, 2004, 2005 Philipp Benner http://download.savannah.gnu.org/releases/updatedd/
libnl (ver. 1.1)	Copyright© 2003-2006 Thomas Graf http://www.infradead.org/~tgr/libnl/
ppp (ver. 2.4.4)	Copyright© 1984-2000 Carnegie Mellon University. All rights reserved. http://ppp.samba.org/

本製品は、BSD Berkeley Software Distribution License が適用された下記のフリーソフトウェアを使用しています。

routed (v 1.0)	Copyright© 1992-2011 The FreeBSD Project. All rights reserved. http://www.freebsd.org/
OpenSSL (ver. 0.9.8b)	Copyright© 1992-2011 The FreeBSD Project. All rights reserved. http://www.freebsd.org/
	Apache License (ver. 1.0) Copyright© 2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. http://www.apache.org/licenses/

付録

索引

アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

■ お問い合わせ先番号 お客さまセンター

一般電話からは　　0077-7-111（通話料無料）
au電話からは　　局番なしの157番（通話料無料）
Pressing "zero" will connect you to an operator, after calling "157" on your au cellphone.

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

上記電話番号は年中無休　※オペレータ対応は9:00～20:00

取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。

2011年12月 第1版
提供元 KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社
製造元 プラネックスコミュニケーションズ株式会社

2011年12月　第1版
DA111216_PXH11_Manual